

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【306】

2. 日時：令和4年11月2日 14時00分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
三浦主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、中村主任安全審査官、
谷口技術参与

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他10名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のチギラです。
0:00:03	それでは、島根原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングの方を開始いたします。本日の説明項目は、耐震計算書、
0:00:14	の防波壁極値溶液となります。
0:00:19	それでは、本日の資料の確認と、ヒアリングの進め方について説明をお願いいたします。
0:00:28	はい。中国電力のユリです。まず進め方でございますけども、今回前回ヒアリングのご指摘を踏まえましたコメント回答になりますので、
0:00:39	1 問イトウ形式でご説明させていただきます。
0:00:43	前回主にご確認ご指摘いただいた事項が、断面選定の観点だと思っております、こちら再整理しまして、今回、5 号断面に加えまして、
0:00:55	1 断面こちらは以前載せていたものを再度、追加する形で整理しております。これは結果形もお示しております。
0:01:05	さらに 4 断面も新たに評価対象断面として追加をしております。
0:01:11	こちらの 4 段目につきましては断面選定はしておりますけどもちょっと結果形がお示しできてなくて、
0:01:18	こちらの結果につきましては、ツツミ今回数字という形で、理事会になりますけども 11 月 22 日のヒアリングにはですね、
0:01:28	お見せできるように準備を進めているところでございます。
0:01:33	一応イトウ形式の中でこちらのご説明させていただきます、そのあと審議説明ということで、5 号断面で前年の施設護岸なしの影響検討。
0:01:45	あとこちらと改良地盤の 8 をモデル化した影響検討こちらを追加実施しておりますので、こちら、
0:01:57	よろしければ続きまして裁判の方させていただきたいと思っております。
0:02:03	はい、じゃあ、
0:02:10	失礼しました。中国電力の藤村です。それでは、資料の確認の方をさせていただきます。まず資料 01 としまして、指摘事項に対する回答整理表。
0:02:21	次に資料②としまして、地震を増計算書、
0:02:26	続きまして資料③としまして、耐震性についての計算書、
0:02:30	最後に資料④としまして、耐震性に関する説明書の補足説明資料、以上の 4 分となります。
0:02:39	過不足ございませんでしょうか。どうぞ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:41	はい。規制庁の吉良です。資料の方、そろっておりますので説明の方をお願いいたします。
0:02:49	中国電力の藤村です。それでは資料 01 の回答整理表を用いまして、1 問イトウ形式でコメント回答のご説明をいたします。
0:02:58	まず資料①-1 ページをお願いします。
0:03:02	まずナンバー2 のコメントであります。
0:03:09	続いて、品質保証試験結果との比較等により妥当性や保守性について説明することにつきまして、回答内容をご説明いたします。また、No.10 の
0:03:22	グラウンドアンカーのモデル化の妥当性について、検証方法を含めて説明することにつきましても同一箇所のコメントでございますのであわせてご説明をさせていただきます。
0:03:33	それでは資料④の 269 ページをお願いします。
0:03:41	ちっちゃい。
0:03:43	内、
0:03:46	269 ページからグラウンドアンカーのモデル化方法の妥当性確認について、記載をしてございます。前半は前回ご説明済みの内容になりますので、変更点に絞ってご説明をさせていただきます。
0:03:59	277 ページをお願いします。
0:04:06	動的解析におけるグラウンドアンカーのモデル化の妥当性を説明するようコメントいただいておりますので、地震時におけるモデルの妥当性の確認について、こちらの方まで追記をしてございます。
0:04:18	グラウンドアンカーの全労は逆T領域が地震時に傾斜する際に、逆有益底盤の変位と連動して伸縮するため、逆T擁壁の鉛直変位の時刻歴とグラウンドアンカーの発生アンカー力の時刻歴を対比することで、
0:04:33	地震時においてグラウンドアンカーのモデル化の妥当性を確認します。
0:04:37	使用するケースはグラウンドアンカーの調査値が最も厳しくなります。S s-N案プラプラのケース③とします。
0:04:44	変位の出力位置は、逆に溶液底盤の両端といたします。
0:04:50	278 ページをお願いします。
0:04:54	図 7-11 の上側の図に、逆転溶液底盤の鉛直変位等発生アンカー力の比較を示しております。図の上、上側の水色とオレンジ色の日本線が、鉛直変位を表しております、
0:05:08	下側の青色と赤色の日本線がアンカー力を示しておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:13	海側陸側のグラウンドアンカーともに、客き溶液の底盤の変位が増大した際に、それを抑えるように、グラウンドアンカーの発生アンカー力が増大しており、約T溶液の辺に伴って、グラウンドなんかの発生アンカー力の増減が、
0:05:28	整合的でありますことから、モデル化方法が妥当であることを確認しております。
0:05:33	ナンバー2とNo. 10のコメント回答としては以上でございます。
0:05:38	はい、規制庁ディクライズそれではNo. 2とNo.10について、確認する点がある方、お願いいたします。
0:05:51	規制庁のハットリです。
0:05:53	とNo.10についてちょっと少し確認をします。
0:06:00	207④の資料の278ページに置いて、
0:06:07	変位が発生し、
0:06:09	そしてそれに追従して設定案発案加力が出ているので、妥当であるという記載になってますけれども、
0:06:18	基本的に今変位が出ればそれに応じた節点力が出るというのは、
0:06:24	ある意味自明なの
0:06:26	この記載。
0:06:29	無理だけだと。
0:06:31	少しちょっと誤解を招くのかな。
0:06:35	という、
0:06:38	ふうに、
0:06:39	この記載を見て思いましたので、もう少し記載をですね追加して適正化していただきたいなと思っています。
0:06:48	それにあって、幾つか確認をさせていただきたいと思います。
0:06:54	まずですね、現実的なあ、グラウンドアンカーの挙動として、
0:07:01	地震によって擁壁人、
0:07:04	転倒モーメントが作用した場合、2、
0:07:08	グラウンドアンカーによる抵抗モーメントが、
0:07:12	転倒モーメントを上回っている範囲においては、
0:07:17	浮き上がりが発生しないのD。
0:07:20	A、
0:07:22	アンカーの緊張力わあ、初期導入力1650kNよりも、
0:07:29	大きくなるのか、それとも、地震が発生しようと、転倒モーメントが発生しようとする、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:39	浮き上がろうとするので、
0:07:41	それを抑えるために、
0:07:44	グラウンドアンカーの緊張力は、初期導入力より増えるのか。
0:07:50	この点について、中国電力はどのようにお考えでしょうか。どうぞ。
0:07:57	中国電力ユリです。
0:08:00	衛藤。
0:08:01	まずちょっとですねこちらの記載がわかりにくかったと思うんですけども、
0:08:07	278 ページの図 7-11 にお示しております海側鉛直変位陸側鉛直変位につきましては、羽鳥さんおっしゃる通りなんですけど、これアンカー位置での変位ではなくてですね、
0:08:20	逆Tの両端の変位ということで、
0:08:23	この二つを見れば、期アノ逆Tとして海側に倒れているのか陸側に倒れようとしてるのかっていう傾斜がわかるような、
0:08:32	意味合いでつけております。
0:08:35	ただおっしゃる通りで変位に追従してアンカー力が大きくなるっていうのは自明なことなんですけども、
0:08:42	ええと、
0:08:43	二つ目言われてる、転倒しようとしたときに、初めてアンカー力が増えるかっていうと、それ以外にもですね、こちらの、
0:08:54	地震動に伴いまして、下の改良地盤ですね、こちら自体が膨縮するといえますかロッキングするような形で、
0:09:05	海側に倒れたり具合に倒れたりしております。
0:09:10	その中で、改良地盤がももとの位置よりも、改良地盤自体が上側に変位するような時っていうのは、
0:09:20	アンカーが引っ張られる状態になりますので、
0:09:24	その分緊張力が増すようなモデル化になっております。
0:09:29	すいませんちょっとお答えになっておりますでしょうか。以上です。規制庁のハトリですはいその点についてはわかりました。ちなみに、
0:09:37	ジョイント要素が改良地盤とB型容器の間に入ってると思うんですけども、
0:09:44	ジョイント要素を検証したときに、
0:09:49	その小さい転倒モーメントまだ初期の地震動の段階では、剥離を起こしていないんでしょうかそれともある程度少し剥離、やっば少しでも地震がかかれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:01	剥離を起こしてる状態になってるんでしょうかどうぞ。
0:10:13	少々お待ちください。
0:10:27	すいません中国電力のユリです。先ほどおっしゃっていただいた剥離というのはですね、逆T擁壁と改良地盤の境界部分の剥離のことをおっしゃってるんでしょうかすいません。もう一度お願いいたします。
0:10:39	規制庁の服部ですはいその通りです。
0:10:47	中部電力のユリです。
0:10:50	基本防波壁の店頭活動につきましては、このアンカーの効果を見るという意味でも、
0:10:59	この資料の中でご説明してるんですけども、
0:11:03	基本かなり性的というか保守的な評価でやっても転倒しないという状態になっておりますので、
0:11:10	言われてるような剥離っていうのは生じてないと考えております。以上です。
0:11:16	規制庁のハットリですそうすると、
0:11:18	地震時において、1650kNを上回る緊張力というのは、
0:11:27	地盤改良タイガー変位して浮き上がろうとした時を抑える。
0:11:33	浮き上がろうとしたときの、
0:11:35	変形に対して、発生してるというふうに、
0:11:39	理解してよろしいんでしょうかどうぞ。あくまでも、
0:11:45	B型擁壁が改良地盤、
0:11:48	カラーバー浮き上がる力、
0:11:51	に対して発生しているわけではないということでもよろしいでしょうかどうぞ。
0:11:58	はい中国電力のユリです。おっしゃる通りでございまして、基本躯体がうか浮き上がっているようなことは考えてなくてですねそれ起こってないと思ってます。
0:12:09	言われる通り、改良地盤の変位変形に伴いまして、グラウンドアンカーの緊張力が増減しているものと考えております。以上です。規制庁の服部ですはいわかりました。であればですね、
0:12:21	今由井さんがおっしゃったこと、
0:12:24	こういうことを模擬するような形で今回はモデル化をしていて、
0:12:32	その模擬するような形のものがきちっと検証今回できたんだよみたいな、そういうような記載で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	妥当かどうかというよりも、自分たちが考えている、そのモデル化が正しく機能しているというかですね効果をきちっと表してるというような、
0:12:54	それは何か
0:12:55	効果、
0:12:57	がはっきり説明できる。
0:13:02	発揮できてるということを確認できたというような、それを妥当性と呼んでもいいんですけどもそういうような、もう少しこう、変など、節点力が青天力とかアンカー力が
0:13:14	整合してるねっていうだけだと、もう少しこう誤解を招く可能性があるもので、そこまでちょっと踏み込んだ形で記載を適正化していただくというか、
0:13:25	説明記載を適正化というよりも説明していただくことはできますでしょうかどうぞ。
0:13:34	はい。中国電力の李です。承知いたしました。模擬しているものを今回想定している現象が確認できましたということ踏まえてですね、モデル化の妥当性といいますか。
0:13:48	検証ができましたという結論で、記載を適正化したいと思います。以上です。
0:13:53	規制庁の服部ですはい。それで1点だけちょっとこれはちょっと私ですすね今回、中国電力のモデル化の考え方は頭では感覚的には妥当だということは、
0:14:06	わかるんですけど、ちょっと自分の言葉に置き換えた時に少しわかりにくいのでは少ななか置き換えるのが難しいなと思ったんで1点だけちょっと確認をさせていただきたいんですけども。
0:14:17	現実的なそのアンカーは、初期の長さL、
0:14:24	に対して、 ΔL だけ引っ張った状態で、定着することによってアンカー導入力を入れてると思います。
0:14:35	さらにそれを上回るような転倒が起きれば、 $L+0$ タイ+ $\Delta L'$ というふうな伸びになるのかなというふうに思っています。
0:14:45	一方で、解析的には、
0:14:48	まず節点力を入れることによって、 $L-\Delta L$ 、
0:14:53	これを初期条件として初期初期値として、解析をすることによって、
0:14:59	今回現実的なアンカーの挙動を再現するというようなこういうような工夫を、
0:15:07	解析モデルにしているということによって理解すればよろしいのでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:13	結局引っ張ってるという、最初に伸びて、アンカーが伸びているという状態と、今回解析的には推し縮めているというところが、頭の中でちょっとうまく繋がらなかったのもので、
0:15:26	そういうことなのかなというふうに私はちょっと考えたんですがその考えが正しいかどうかだけ確認させてくださいどうぞ。
0:15:36	はい中国電力のユリです。おっしゃられていることは理解いたしましたけれどもちょっとそのようになってるかのちょっと確認が、今現状できておりませんので、
0:15:47	今言われたところの状態になってるかっていうのを確認した上でですね、正しいところを記載したいと思います。以上です。
0:15:58	規制庁のハットリですはいわかりました。挙動的には検討しようとする、アンカーが引っ張られて、
0:16:05	逆に押し込む方は、
0:16:10	初期導入力 1650kN からへ緩んで減っているということになっているので、解析上は正しいような、なってるのかなということがわかりましたので、
0:16:23	あとはうまくこれを説明していただければと思いますのでよろしくお願ひします。私からは以上です。
0:16:42	規制庁の服部です。
0:16:44	私がさっき言ったことはユリさんよろしいでしょうかどうぞ。
0:16:50	はい中国電力ユリです。大変失礼しました承知いたしました。以上です。
0:16:56	規制庁の服部ですはいわかりました。それでちょっと今のナンバー10から少し外れるんですけども、
0:17:04	今回、
0:17:08	この5号断面の許容アンカー力は 2076kN で、
0:17:15	設計アンカー力が 1650kN ですよこれはよろしいですよどうぞ。はい。
0:17:23	はい中国電力、ユリです。おっしゃる通りでございます。以上です。
0:17:28	規制庁の服部ですそうするとまず1点。
0:17:32	丸さんの資料の、
0:17:40	12ページ。
0:17:44	ここで、グラウンドアンカーの許容限界が設計アンカー力となっているんですけども、
0:17:51	この記載は正しいんでしょうかどうぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:57	はい。中国電力のユリです。おっしゃる通りちょっとこの色彩を間違っております、設計アンカー力ではなく今日アンカー力が正しいです。
0:18:08	これらの補足説明資料のコメント回答踏まえまして、最終的にはこちらの耐震計算書につきましても適正化させていただきたいと思っております。以上です。規制庁の服部です。はい、わかりました。そうですね。
0:18:21	グラウンドアンカー基準だと、地震を考慮してないので、設計アンカー力＝今日アンカー力になったりもするので、今回はそれと違う考え方を使得アノか。
0:18:33	用いているので、混同しないようにだけ注意して、資料はきちっと整合させないと、我々がちょっと読んでいて、混乱するのでその点はよろしく願いますどうぞ。
0:18:47	はい。中国電力入江です。承知いたしました。以上です。規制庁の服部です。
0:18:55	それでもう1点なんですけれども、
0:18:58	④の、
0:19:00	17ページをお願いします。
0:19:09	この17ページを見ると、5号断面は、
0:19:14	上の平面図を見ると、エリア5になっていて、
0:19:18	エリア5の許容アンカー力は、下の表を見ると、1453kNになっていて、先ほどの記載と不整合になってると思うんですが、この点についてはいかがでしょうかどうぞ。
0:19:35	資料を探しますので少々お待ちください。
0:19:53	中国電力の藤村です。
0:19:56	108ページの、あ、失礼いたしました。資料④の108ページをお願いいたします。
0:20:04	こちらの方に、5号断面のモデル化位置について記載をしております、この黄色で記載してる箇所になるんですけれども、5号断面につきましては、断面図としましては先ほどの17ページにお示ししております5号断面の、
0:20:20	1、
0:20:22	になるんですが、
0:20:25	ケース断面図につきましては、5号断面の位置よりもさらに
0:20:30	深い断面となっております。5'を出し断面の方の地質断面図を、
0:20:37	対応をさせていただきます。そちらを連れ、110ページの方にお示しをしているんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:45	110 ページの下側の図をご覧くださいますと、左側に青線で 5 号断面というアノ断面 1 と、そのすぐ右側に 5' を' 断面という二つの断面位置を示しております。
0:20:58	5 号断面の位置としましては、この青色の線であります 17.9 メートルの岩盤上面部アサノ 5 段目 1 になりますが、さらに保守性を担保するために、
0:21:10	その右側の合田氏合田氏断面で、こちら側の岩盤上面の深さが 18.5 メートルになるんですけども、こちらの方の地質断面図の方を採用しております。
0:21:21	また、アンカーの使用に関しましても、こちらの 5' を' 断面の方、
0:21:29	のアンカーの方が保守的な仕様となっておりますので、こちらの 5' 5' 断面のアンカーの仕様をモデルの方に反映させて、
0:21:38	ございます。こちらが 17 ページの図で申しますと、エリア 7、
0:21:46	に該当しまして、横断面のアンカーとしましてはこちらのエリア内を示しております。アンカー力の方を設定してございます。
0:21:57	以上となります。規制庁の服部です。今の説明はわかったんですけど、この資料の作り込みだと、
0:22:06	非常に誤解を招いくんじゃないかなあと私は感じました。資料は前から読んでいくので、
0:22:13	そういうふうに感じましたのでお願いします。
0:22:19	すみません、エザキですけど、設計上ですね、安全包絡できてるっていうか、あれができてないんで、基本的にそうずっと⑤断面もやらなきゃいけないことになりますよ。
0:22:33	やはりですねその⑤断面と⑤' 断面を合わせて厳しいところをとってるといような形をとらないと、設計のロジックとしてかみ合わないと思いますけど、
0:22:46	いわゆる⑤' 断面で⑤を包絡しているといったことが説明できてないんじゃないですかそれだと。
0:22:55	そうずっと⑤でもやってないとわかんないって話になっちゃうじゃないですか。
0:22:59	普通は。
0:23:02	厳しいところにするんじゃないすかね。実際にそれはなかったとしても、⑤断面と⑤' 断面を合わせて
0:23:14	一つの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:15	解析モデルとかあれ設計モデルって、ある程度理想化して構わないので、そうしたときには厳しいとこどりするんじゃないですかね。
0:23:25	通常でいうと、
0:23:28	そうすれば、基本的には、⑤'断面でも⑤断面でも、もう理想化したもので計算してるからどちらも安全性を確認したことになると思うんですけど、今のやつだと、
0:23:41	⑤だ。
0:23:42	断面のところって、アンカーの定着長が短いですよ。
0:23:48	だから今日限界も小さいっていうわけなんで、そういうことを言われちゃうと、説明性がなく、いいかなと思うんですけど、いかがですか。
0:23:59	はい。中国電力ユリです。おっしゃってるところは、基本アノを出しブラシ断面の方が岩盤上明深さ等の観点からは5号断面を包絡できるよう、すいませんそういう観点だけじゃないですよ。
0:24:15	基本的に安全性を担保しなきゃいけないんだから、それから考えたならば、その構造弱部からも着て、着目点を見なきゃいけないって、
0:24:25	そこで今回、一番安全裕度が低いとかどうかってグラウンドアンカーですよ。
0:24:30	だからグラウンドアンカーがこれを、一応その、
0:24:34	施設として登録してるんで、DB施設だから、Ssに対して、壊れちゃいけない設計になってるわけなんで、施設であるべきなんで、それが確認できない限りは、
0:24:45	適合性の判断できないんじゃないですか。
0:24:50	すいません中国電力のユリです。おっしゃる通りでございまして、グラウンドアンカーにつきましてはおっしゃるところがあると思いますので、今の断面に
0:25:02	今の5号断面の位置でのアンカーの諸元等を入力した場合にどうなるかっていう検討を追加でやることも含めてちょっと考えたいと思います。ただねえと荷重を減らさないと、
0:25:15	もうもともと今日限界がかなりかなり切迫しちゃうでしょう。
0:25:19	今の⑤断面のところ、
0:25:22	言うと、うん。
0:25:25	例えば、この資料は、丸さんの資料の42ページの表の4-8見ると、すでに
0:25:36	その発生6262ですよ。
0:25:42	⑤断面の1の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:46	基本拘束圧って 1764 で要は今日限界が 1264 だからこれがそのまま滑り、⑤断面に入ってくるわけですよ。
0:25:55	そうすると、かなり切迫、いわゆる 2kN の裕度しかないということになると思うんですけど、
0:26:03	大丈夫ですか。果樹。実際にモデル化すれば、荷重が減るかもしれませんが、
0:26:13	はい中国電力入れず、おっしゃる通りのところでございまして、ちょっと 5 断面でこういう設定をしている経緯がですね昔からのちょっと断面がこういうモデルになってます。
0:26:26	おりました、ちょっとこういう設定をしている次第です。ただ言われるところ理解しましたので、ブランドアンカーの諸元を今の 5 段目の位置で設定し直した場合にどうなるかという検討をしたいと思います。
0:26:41	らないとちょっと厳しそうですねっていうのは、いわゆる、それを⑤断面で、そのあと説明する。
0:26:49	キョウケンと。
0:26:52	いわゆる既設護岸と STACY マウンドを期待しない。
0:26:56	解析すると。
0:26:58	多少上がるんですよ、数パーセント。だからそうすると、この 1264 そのまま当てはめちゃうと、多分超過しちゃうと思うんですね 1260 人が、数パーセントがあると。
0:27:11	だからそうすると、深さ方向に、今、実際の現実的な、実際の状態で、解析しないと難しいかもしれないですねこれね。
0:27:22	しなさいってことじゃないけどかなり、
0:27:24	許容限界が、⑤断面純粋なところって低いんですよ。
0:27:31	そういうことが考えると、
0:27:35	ちゃんと答えは、有無検定性は維持できてるってことを説明しないと、多分、
0:27:40	多分じゃなくて、
0:27:42	適合性の判断ができないことになりますんです。そう。
0:27:48	ちょっとですねどのように進めすべきかっていうのは、至急ちょっと考えてもらえますか。
0:27:53	よろしいですか。
0:27:56	はい中国電力ユリです。承知いたしました。④の資料の 41 ページの方にですね、グラウンドアンカーの諸元としてお示してるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:07	こちらの、今議論になりましたところがもとの5段目の位置がエリア高というもので、オレンジで引っ張ってるところで、東郷出し防弾集断面の位置がエリア7ということで緑でハッチングしてるところなんですけども、
0:28:22	こちらのちょっと表の設計アンカー力のところと共用アンカーの部分のところをそれぞれちょっと見ていただきたいんですけども、
0:28:29	今当てはめてる値というのが、エリア7が許容が207016に対して、こういう初期緊張力のことを設計明るくって申し上げてるんですけども、これは1650になって、
0:28:42	許容に対して大体8割ぐらいの初期緊張力を与えてるようなことになってます。
0:28:48	一方でエリアを見ていただきますと、おっしゃったように、今日アンカー力につきましては、エリア7に比べて低いという我が力になっておりますけども、
0:28:59	これにこちらについても、今日アンカー力に対して約8割程度の1170ということで、
0:29:07	初期緊張力については、少し小さい値を設定しております。
0:29:12	今1段目と5段目の解析をしておりますけども、いずれも派生アンカー力ですね、こちらは、ほぼ初期緊張力が占めるというかこちらが支配的になっておりますので、
0:29:25	それぞれたすき掛けをするようなことなくですね、エリア5だったら今回多分エリア7の値をエリアモニ変えるようなことをするんですけども、
0:29:36	そういったことをすれば、アンカーに対しての照査値というのは、問題ない結果になると考えております。以上です。
0:29:47	北田岩城です。見通しとしては、今のユリさんの言ったことは理解しました。ただそれはやっぱり現実的にですね、ちょっとけ、多分計算されて説明するってということだと思んですけど。
0:29:58	どこからやり直すかっていうのはあるかもしれませんが、
0:30:02	表現変えを置き換えるだけではちょっと難しいので多分その書記、
0:30:07	緊張力のところから話を持って、検討しないと
0:30:15	表現化には入らないって説明だったと思いますんでその辺ですねまた今後また、
0:30:21	説明いただければと思います。
0:30:25	はい中国電力伊井です。ご理解の通りでございます。追加検討の元承知いたしました検討いたします以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:35	規制庁のハツリです。はい。すいません私から御同じちょっと同じところで、
0:30:42	ちょっと私の理解が正しいのかなっていうのを確認させていただきたいんですけど。
0:30:46	今ユリさんのおっしゃったのは、
0:30:49	今回の検討という、地震時の評価というのは、
0:30:53	あくまでも、
0:30:55	地震が起こった時は、設計アンカー力からノウゾウ部アンカー力で評価をするので、
0:31:07	増分アンカー力ってごめんなさい、設計アンカー力と、今日アンカー力の差が大きければ大きいほど、
0:31:14	それは許容値に余裕があるんだみたいなそういうことで、そういう前提で話をしたということでもよろしいでしょうかどうぞ。
0:31:25	その余裕が大体 2 割程度と。はい。中国電力ユリです。説明不足で申し訳ないんですけども、書記緊張力自体が許容アンカー力の大体 8 割ぐらいになるように設計して導入をしております、
0:31:41	地震時はこの設計アンカー力プラスアルファの地震時増分がかかります。設計アンカー力プラス地震時増分を発生アンカー力としまして、
0:31:53	許容アンカー力と発生アンカー力の比較で照査を行っております。
0:31:58	お答えになっておりますでしょうか。以上です。
0:32:20	規制庁の服部ですはいアノはいちょっとすぐすいません少しお待たせしましたけど、李さんの言われてることは理解しました私も認識と合っていましたのでそれで結構です。
0:32:32	私からは以上です。
0:32:41	規制庁チギラ列が、
0:32:46	コメント。
0:32:47	ヒアリングコメントの 2 番と 10 番に関係図、
0:32:54	内容で確認する方、大丈夫そうですかね。はい。
0:32:59	コメントの 2 番については、特段これはやっていただいたということでしたとしたいと思います。で、10 番については、
0:33:09	継続で記載ですね。はい。今日藤さんの方ですねちょっと検討していただければというふうに思いますのでよろしくお願いします。
0:33:19	それでは続いての説明をお願いいたします。
0:33:24	はい、中国電力田井です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:27	それでは資料①回答整理表の、コメントNo. 4 に関してご説明いたします。
0:33:33	この内容については 5 番がよ。
0:33:36	後結合される場合においても底盤フーチングへ悪影響がないことを説明することとなっておりますが、こちら前回にご指摘いただいたことについてご回答いたします。主に 3 点ございまして、一つ目が、
0:33:48	鋼管杭の影響検討の位置付けを明確にすること。
0:33:52	2 点目といたしまして、中詰めコンクリートの扱いについて記載を充実化すること。3 点目といたしまして、改良地盤の影響について、局所安全係数分布を示すことという、
0:34:02	3 点についてご指摘いたします。ご指摘いただきましたので、そちらの回答をさせていただきます。また局所安全係数分布にいたしましては、コメントNo.11、
0:34:12	に関する面でございますのでこちらとあわせての回答になります。
0:34:17	それでは、資料の 200 は、年ナンバー281 ページの方をお願いします。
0:34:31	281 ページ、1-1 に逆擁壁における設計の経緯をお示しております。
0:34:37	当初設計時では、鋼管杭の役割を期待しており、杭等、接合部を結合としてモデル化しておりました。
0:34:46	はい杭頭部のモリコメントがコメント声がこういう経過があったため、
0:34:51	次第 870 回会合時点で、金利結合としてモデル化ということになりました。
0:34:57	またその後、杭の根入れが 0.5 メートル浅いため、杭先端のせん断抵抗に期待しない設計を行うよう、ご指摘を受けました。それで逆Tを設定行がですね改良地盤に支持し、
0:35:09	何かを記載した上で鋼管杭の役割には期待しないという設計といたしました。
0:35:16	これらの経緯を踏まえてですね鋼管杭を期待しませんが、鋼管杭自体は施工されていることから、約擁壁への悪影響を確認するため、今般杭をモデル化した影響検討を実施しております。
0:35:28	続いて 284 ページをお願いいたします。
0:35:34	鋼管杭の営業原動フローを低下しております。
0:35:39	左に大きな流れがありまして、杭搭載化実験により杭の結合部の力学特性を確認しております。水で確認された力学特性を反映し、
0:35:51	杭の結合部お願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:53	そのモデルを用いまして2次元動的FEM解析を行いまして、そちらの結果から鋼管杭の影響検討を行い、その影響について検討しています。
0:36:04	また、右側に流れる。
0:36:06	フロアですねこちらの妥当性を確認する項目となっております。
0:36:12	小栗の影響検討フローについては以上となります。続いて、中詰めコンクリートの説明となります。中詰めコンクリート資料の308ページをお願いいたします。
0:36:28	鋼管杭や、2次元FEM解析によって鋼管杭の使用材料を決定する上で、中詰めコンクリートの剛性について記載を適正化しております。
0:36:37	ただコンクリートの剛性について考慮しない方が、鋼管杭の変形が大きくなり、事業駅の地震状態加速度が大きくなると考えられることから、保守的に剛性は考慮せず、単位で重量のみ考慮すると、記載をセイキいたしました。
0:36:53	そいで、3点目のご指摘になります。採用地盤への利用についてですが、コジマ5、315ページの方、お願いいたします。
0:37:04	改良地盤への影響についてです。鋼管杭の変位が最大となる時刻において、改良地盤への影響が最も大きくなると考えられるため、鋼管杭の杭頭部等杭支持部の相対変位が最大となる時刻において、局所安全係数分布を
0:37:21	示しております。
0:37:23	こちら、図に示す局所安全係数分布により、
0:37:27	引張強度に達した要素が局所的であり、概ね健全であることから、鋼管杭の変位により、改良地盤への影響は軽微であると判断いたしました。
0:37:35	コメントNo. 4 についての回答は以上となります。
0:37:43	はい。規制庁、日浦です。それでは、今説明いただいたコメントNo. 4 と11 も関係するんですかね、と、その中でこのご関係の影響検討の位置付けであったり、中詰めコンクリートの、
0:37:57	考え方、また、
0:38:00	フェリー坂野局長安全係数、この内容について確認する点がある方、お願いいたします。
0:38:13	規制庁の服部です。11番、
0:38:18	あ、すみません。
0:38:20	資料、
0:38:21	一番の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:23	11 番について、ちょっと各何点か確認をします。
0:38:27	説明では 315 ページで説明されたので、315 ページをお開きください。
0:38:35	まず 1 点、
0:38:40	この局所安全係数を確認するというのは、鋼管杭に対する悪影響もあるんですけども、
0:38:48	そもそも論として
0:38:51	鋼管杭がない場合の時の
0:38:56	津波防護施設に対する影響という観点も含まれていますというのは、地盤改良体は今回支持地盤という機能も追加されたんですけども、
0:39:08	もともとは遮水性の機能に対して期待するということだったので、
0:39:12	あまり大きな破壊をすれば遮水性に対して影響があるのではないかと いうことも含めて、局所安全係数、
0:39:20	局所安全率を見て
0:39:23	確認をし、する必要があるので指摘をしています。
0:39:30	それを含めてですねちょっと確認なんですけれども、
0:39:33	今回、
0:39:38	まず 1 点この記載について確認しますけれども、
0:39:41	この 315 ページの岩盤からのせん断抵抗に期待しないケースと、
0:39:48	X方向にジョイント要素を設定したケースというのは、
0:39:52	ジョイント要素を設定した場合というのはある程度ジョイント要素で、活動、摩擦抵抗を考えて、活動がある程度数、
0:40:02	あるところまでは聞くと、
0:40:04	というような評価で、
0:40:06	岩盤のせん断抵抗に期待しないというのはジョイント要素背の値を 0 に して、到底全く滑り抵抗なくしたような状態で、
0:40:17	評価してるという理解でよろしいんでしょうかどうぞ。
0:40:24	はい。中国電力田井です。おっしゃる通りでございましてそちらジョイント 要素の記載に関しては、資料 307 ページの方にお伝えさせていただ いております。
0:40:35	以上です。
0:40:36	市長のハットリですはいわかりました。
0:40:38	記載の方についてはわかりましたけど、ちょっと 1 点だけ。
0:40:42	地盤乃音局所安全係数というのは地盤の等のように破壊してるかとい うのを見るような指標にもなると思うんですけども、
0:40:53	その地盤って 1 回破壊する等、基本的に元に戻らないので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	最終的にどのようになっているかというのは、
0:41:03	同時刻脳、局所安全率を見るよりも、
0:41:07	全時刻で見た方がより正確なんではないかなというふうにも考えるんですが、今回同時刻にしたという理由は何でしょうかどうぞ。
0:41:23	少々お待ちください。少々お待ちください。
0:41:48	はい。中国電力のユリです。考え方についてですが、
0:41:53	鋼管杭なしの方ですね、こういう局所安全係数分布であったり、
0:41:59	滑り安全率係での改良地盤内でキャンペーンの方で検討しております。
0:42:04	今回かお考えありにしたんですけども、一番厳しい時刻の局所安全係数分布図を見てですね、赤井が局所的であれば、
0:42:14	先ほど申した鋼管杭なしのケースとあわせもってですね、そういった内的安定の滑り安全率これ全国で検討しておりますけど、
0:42:25	これらが問題になるようなものではないだろうということで、局所安全係数分布図を、この当事国のみ示してございます。以上です。
0:42:34	規制庁の服部です。ということは、設計ケースである鋼管杭なしのケースでは、全時刻で確認してるということよろしいんでしょうかどうぞ。
0:42:47	はい。中国電力ユリですおっしゃる通りでございます。以上です。はい。
0:42:51	規制庁の服部です。すいませんそれは、
0:42:55	どこに書いてあったんでしょうかちょっとすいません私そこばっかしか見てなかったの、ごめんなさいどこに書いてあるか教えていただければと思います。はい。すいません中国電力由井です。同じ資料のですね 100 通し番号通しページ 188 ページ、お願いします。
0:43:16	こちらの方に鋼管杭なしの基本ケースの場合の 1 断面 5 番目の
0:43:23	こちらすみません応力状態に着目した衝立及び検討でございますが、その
0:43:28	前、
0:43:31	この前ですね 185 ページから評価結果ということで、内的安定の滑り安全と算定しております。これは滑り面を、改良地盤のスギト。
0:43:44	応力が集中するようなところを指定にして、
0:43:48	フォードピッチでパラスタをし、全時刻、全地震動で確認しているものでございます。以上です。
0:43:55	規制庁の服部ですごめんなさい。私も読み込みが甘くて申し訳ないんですけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:02	滑り安全率については同時刻でやってる、これは滑り面が同時刻でこういうふうが発生するかということでそれは理解できるんですが、局所安全率を漸次超え時刻でやってるといのは、
0:44:15	このタイトルだけだとT=7.56 秒とか 7.61 秒って書いてあるので、同時刻かなと思ってしまったんですけども、それはどっかに書いてあるんでしょうかどうぞ。
0:44:29	すいません。ちょっと説明不足だったんですけど、187 ページの局所安全係数分布図は、先ほどの杭ありのケースと同じようにですね一番厳しい。
0:44:41	滑り安全率が一番厳しくなる時刻のみを示しておりますが、このように網羅的に滑り面を示しております、
0:44:51	滑り安全率の方は、全時刻で、こういった破壊履歴も考慮した形でですね、
0:44:57	算定をして、
0:44:59	一番厳しくなる滑り安全率のところですね、185、86 の方にお示してごさいます。以上です。規制庁の服部です。
0:45:12	私今ちょっと聞いてたのは、局所安全率、
0:45:17	地盤のも破壊状態を、滑りじゃではなくて破壊状態を見るための局所安全率については、
0:45:25	全時刻で、
0:45:26	見た方がいいんじゃないかなという考えもあるということで、その点について確認したんですけども、
0:45:34	局所安全率についてはいかがでしょうかどうぞ。
0:46:14	はい。すいません遅くなりました中国出にくいです。
0:46:19	ちょっとご説明不足で、私の説明内容が、
0:46:26	伝わってないのかなと思いますのでちょっともう一度ご説明させていただきますとですね 185 ページにお示しております滑り安全率というのが、
0:46:35	各地震動でですね全時刻で、
0:46:38	今局所安全係数分布図は一部の時間だけを切り取ってお示しておりますけども、こういった黄色が発注してあるところは強度 0 ないしは強度を落とすような形でですね、
0:46:52	高い履歴を考慮した安全率を選定示しております。これ先行炉の女川さんだったりとかもうどのようなことをやってるかというのを確認した上でですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:05	こういったお示しの仕方をして、さらに滑り安全率っていうのが網羅的になっているかという意味ですね、これも先行炉さんに倣った上では187ページなんですけども、
0:47:18	一番厳しい時刻で見たときに、そういった
0:47:22	滑り面が破壊している部分を通っているかという観点から見ております。
0:47:29	お答えになっておりますでしょうか。以上です。
0:47:33	規制庁のハトリですはいその点については理解をしています。
0:47:38	なので滑り安全率IIIに絡めた話であればそれでいいとは思いますが、
0:47:44	その局所安全率だけ。
0:47:48	を考えたときわあ、例えば、187ページは、
0:47:54	何だろう、7.61、7.61秒は、この部分が破壊していましたけど、
0:48:02	さらに進展して10秒辺りはまた違うところが破壊していたりとか、さらに11秒だとまた違うところ破壊したりとか、破壊がその病床によって変わりますよね。
0:48:14	で、
0:48:17	赤いしたところが時刻によって元に戻ればいいんですけど、通常は戻らないので、最終的に地震が終わった時は、すべての時刻で破壊したところをすべて色を塗って、
0:48:29	どこら辺まで破壊が試運進んでんです。最終的にはここまで破壊が進みました。
0:48:36	というような評価をするのかなあという考え方もあるのかなど。
0:48:39	ということで確認をしたんですけどもいかがですか。はい。
0:49:29	あ、すみません中国電力ユリです。お待たせいたしました。すみませんご趣旨をちょっともう一度確認したいんですけども、言われてるのは、局所安全係数分布図の全時刻最大を示すと。
0:49:41	そういったことを言われてるんでしょうか。そういう理解でよろしい規制庁の江崎ですけども、そもそもね。
0:49:49	この部分で、基本的に、安定性っていう観点、要はその支持支持力、支持してるっていうことの観点と、それとは別に、
0:50:00	期待してる役割としては、止水性も担保しないといけないですよ。
0:50:06	止水性を担保する上で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:09	一つの目安になるのが、局所安定係数で、いわゆる引張破壊とか、せん断破壊を局部的に破壊し、起きて、オクチャいけないってことじゃないんですけどその領域が、
0:50:22	継続時間中にどれだけの広がりを持ちますかということだと思っんですよね。
0:50:26	基本的には部分的、多分、この絵でように、部分的で、前、前、継続時間をしたとしても、
0:50:35	海側から陸側まで繋がっちゃうようなことはまずないはずなんで、
0:50:39	それを、
0:50:40	確認した上で、
0:50:43	当然そこに関してはだっこ弾性計算してるようなもんなんで、
0:50:49	いわゆる
0:50:51	応力再配分というのはいないわけですよ、破壊したということで、
0:50:56	それをやらずとも、せん断、
0:51:03	滑り滑り安全率で見れば、基本的には、そこでfsが確保できてれば、
0:51:13	表から浦まで、
0:51:15	いわゆるひび割れ的なものが繋がるわす滑り線とひび割れみたいなものなんで、そうしたものが、要は流入経路が形成されることはないっていうそういう理屈だと思うんですよね。
0:51:28	違いますか。
0:51:30	なので、今ハットリはとか我々規制庁が言っているのは、全体として多分大して広がりじゃうは持っていないでしょうけども、それは、
0:51:40	事業者として、ちゃんと説明をしてくださいということだけなんですけど。
0:51:46	理解できました。
0:51:51	はい。中国電力のユリです。おっしゃってることを理解いたしました。前時刻最大というか、一番最終時刻での破壊履歴を考慮した、
0:52:02	局所安全係数分布ということになるんでしょうけども、その際にですね、
0:52:09	赤井履歴については、多分すべてを網羅したものになるんでしょうけど、この時刻での局所安全係数ってということになるとですね、各社共通の中で、あれですねお作法として、今までちょっと僕も、
0:52:23	もう依然としてそこちょっと納得できるわけではないんですけど、もともと、
0:52:30	局所安定係数で滑り安全率を求めるときの滑り健全性、健全強度と残留強度の扱い方、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:39	としては、時刻時刻で判断するっていうのが、今まで基礎地盤の安定性とか、斜面安定等でやっているの、それはひっくり返そうと僕思っていないんですけど、単に、
0:52:52	水みちを形成するような
0:52:56	破壊領域は、そんなに広がってませんよという本当局部だけですよということだけは、
0:53:01	言っていたいたほうが説明性が高まるので説明して欲しいということだけなんですけど、局所安定係数を使ってね。
0:53:11	言ってる意味わかりますか。
0:53:15	はい。中国電力の鹿島です。おっしゃられている趣旨は理解し、いたしますおそらくですね、この表示の仕方も、局長安全係数についても破壊履歴を考慮して、
0:53:27	記載しておりますので一番アノは、破壊がですね広がっているのは、地震動の一番最終ステップの方になるとですねし、いろんなところが黄色くなっていくというのは間違いないかなと思います。ですから、
0:53:40	その状態で水みちが形成されるような状態になってないかというのを確認するべきではないかという趣旨だと思います。おそらくその状態では、応力自体は非常に磁石は性能とちっちゃいんです。
0:53:51	けれども、破壊した弁要素というのが確認できますので、ちょっとそちらをですねチェックしてみたいと思います。以上です。それでですねその考察一つとしてまとめとして、
0:54:03	文章でも書いといて欲しいんですよ。だから地盤改良んど中でできるその局所的な破壊領域は限定的だ、多分限定的になると思うんですよ。他サイトも全部見てもね、
0:54:17	あと限定的であるから、いわゆる、
0:54:19	流入経路を形成されないっていうようなことをしっかり書いて、浸水保護の機能は保持できる、何透水性とは思うと言ってはいるんですけど、
0:54:31	そうは言っても現実的にはそうかなりかたいものでしょうから、
0:54:36	その解明ができちゃうと、そう、水みちができるのかっていうような懸念事項も出てきますから、そこに関してはしっかりとそういうことは、状況にはないんだっていうことを、
0:54:48	節引っ張りと言言していただいた、いただきたいと思ってます。よろしいでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:57	はい。中国電力東で承知いたしましたまずナカムラの状態を確認した上でですねしっかり考察のほうも記載させていただきたいと思います。以上です。
0:55:09	規制庁のハツリですはい 11 番については以上の通り少しもう少し説明を加えてください。私からは以上です。
0:55:24	規制庁の木田です。衛藤。
0:55:27	今、
0:55:28	ヒアリングコメントの 4 番と 11 番に関連して確認を行っているところですけど他に確認する点。
0:55:36	ありますでしょうか。
0:55:39	はい。
0:55:40	特にないようですアノ 4 については説明していただいたということでしたしたいと思います。
0:55:47	はい。それでは次の説明をお願いします。
0:55:52	中国電力の辻村です。
0:55:54	それでは資料①-1 ページをお願いします。
0:55:59	続きましてナンバー 7 のコメントであります。構造解析におけるモデル化の詳細について説明することにつきまして、回答内容をご説明いたします。
0:56:10	また、No.12 のコメントであります。逆 T を駅のモデル化において、地表面にモデル化することが保守的であること、及び庁舎調査箇所の妥当性を説明すること。
0:56:24	につきましても、同一箇所のコメントでございますので、あわせてご説明もさせていただきます。
0:56:30	それでは資料④の 86 ページをお願いします。
0:56:42	資料④の 86 ページから、モデル化の詳細について記載をしております。
0:56:48	86 ページから 88 ページに解析モデルの図を示しておりますが、グラウンドアンカーを記載するようコメントをいただいておりますことから、この度、モデル図のほうにグラウンドアンカーを生じしております。
0:57:02	またちょうど断面選定についてご説明いたしますが、1 断面を評価対象断面に選定しましたことから、1 断面の記載のほうを追加させていただきます。
0:57:12	91 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:17	91 ページの下側に構造物のモデル化について記載をしておりますが、領域を地表面にモデル化することの保守性を説明するようコメントをいただいておりますので、
0:57:29	埋め込みを考慮しない方が、地震時応答加速度が厳しくなると考えられることから、事業名にモデル化する旨を追記しております。
0:57:38	また、調査箇所の妥当性を説明するようコメントをいただいておりますので、動力用示方書等、コンクリート示方書に基づき、調査実施範囲を、部材短までとする旨を記載をしております。
0:57:51	92 ページをお願いします。
0:57:55	92 ページの右下の積み、調査範囲を示しておりますが、図に黄色でお示しております部材 3 までの範囲を、調査範囲といたします。
0:58:04	93 ページをお願いします。
0:58:08	93 ページの上側に道路狭小者の抜粋を示しておりますが、剛域を設定して計算をする場合、財団までの断面力を用いるよう明記をされております。
0:58:19	また下側にコンクリート標準証書の抜粋を示しておりますが、こちらも同様の記載がなされておきまして、逆T擁壁の検討におきましても部材檀までを調査範囲に設定いたします。
0:58:31	144 ページをお願いします。
0:58:38	144 ページから 148 ページの方に、最大調査違えられた時刻での断面力図を示しております。
0:58:46	この度曲げモーメントの照査方法との整合を図り、軸力とせん断力の断面力図の表示範囲を広域端部から、部材端部に変更をしております。
0:58:58	94 ページをお願いします。
0:59:03	94 ページから 95 ページではグラウンドアンカーのモデル化について記載をしておりますが、参考資料に記載しておりましたモデル化の概要をこちらの本文中の方に追記をしております。
0:59:16	また 95 ページにおきましてグラウンドアンカーの近況力の考え方の概要を示しております。
0:59:22	常時応力解析において初期緊張力を節点荷重として入力いたします。
0:59:28	動的解析におきましては、右下の図にお示しておりますように、常時応力解析から初期緊張力を引き継いだバネモデルを、
0:59:37	用いましてアンカー力といたしましては、地震時増分がお金に作用するような形で計算をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:44	No.7 及びNo.12 のコメント回答としては以上となります。
0:59:50	はい。規制庁吉良です。それでは今のNo.7、No.12 に関連して確認する点がある方、お願いいたします。
1:00:04	ちょっと規制庁のミウラです。私の方からちょっと何点かあります。
1:00:10	まずう、補足資料の 91 ページ。
1:00:15	ですね。
1:00:17	先ほど
1:00:20	構造物のモデル化で、埋め込みを考慮しない方が、地震時、同等加速度が厳しくなるということを、
1:00:28	記載してるんですが、
1:00:30	通常は基礎版は中央でモデル化している。それが今回中部方面でモデル化している。
1:00:38	そのことが、応答にとって厳しいってことをここでは説明をしてもらいたいと思っていて、
1:00:44	埋め込みがあるなしってのは全然関係ない話だと思います。
1:00:49	だから壁長のARMが長くなる方が、転倒モーメント等が大きくなるので、設計的に保守的であるってようなことを記載していただきたいと思ってたんですがいかがですか。
1:01:04	中国電力の藤村です。
1:01:06	考え方としてはおっしゃる通りでございますので埋め込みを考慮しないということを明記の方へ消しまして、
1:01:16	おっしゃっていただいた内容で修正の方をしたいと考えております。以上です。はい。よろしく申し上げます。あと結果的に、今詳細値ってのは、
1:01:26	これ部材、部材フェーン数使ってるっていう理解でいいですか。曲げも剪断も。
1:01:38	中部電力の藤村ですおっしゃっていただいた通りでございます。はい。そうするとね 93 ページで、
1:01:45	コンクリート標準示方書で、(5)ってところですか。
1:01:50	針に対しては柱前面から柱前面断面の部材高さの 2 分の 1 だけ離れた位置のせん断力をするっていう言葉がここに記載されてるんですが、
1:02:00	これとは矛盾しませんか。
1:02:02	行ベースでいってのはわかりますけども、
1:02:12	少々お待ちください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:08	すいません。すいません中国電力のカシマです申し訳ございません、お尋ねしております。先ほど三浦さんがおっしゃられたのは、
1:04:17	93 ページの(5)のところで、せん断については、
1:04:23	部材の高さの2分の1だけ離れた位置をせん断力とするということなんでフェーズではなくて内部で調査するべきではないかというご指摘と認識いたしました。で、
1:04:33	今、弊社の方での考えとしては、今、評価しているのがですね、武館野をフェブ材等の柱に対しての評価の準用して、その分、(5)の文章でですね、柱に対しては針の上限面におけるせん断力年っていうところで、
1:04:48	表面の値を採用しているというか、
1:04:51	考えております。以上です。コメントの趣旨に合った回答になっておりますでしょうか。規制庁の三浦です。下米は縦材だからいいけれども、
1:05:01	てブーに関してはこれはRIとして扱うのは本当じゃないかなというふうに思うんですけど。
1:05:07	どうですか。
1:05:11	配置。
1:05:12	中国電力の笠松申し訳ございません今、ちょっとその辺り十分ここの解釈がですね、認識が甘かった点があるかもしれませんので、もう一度ですね、基準を照らして、
1:05:23	今の評価だと、課題だどうかっていうところですね、改めて確認したいと思います。なるほど。規制庁見直すせん断なんでね、別にフェストってあってもご負担とっていいかなとは思うんだけどちょっと
1:05:36	基準にそう書かれているので、それをちょっと照らし合わせてもうちょっと詳細に説明をしてください。いいですね。
1:05:45	はい、中国電力の笠間です。承知いたしました。エザキですけども、そもそも設計公庫数を切り貼り張ってるからまずいんで、実際何をしたんですかっていうそもそもで、
1:05:58	どこまで準用してただ、設計の効率化として安全側にしてる一かもしれないけどふやせないんでそれではそれでもいいんだけど、
1:06:07	そもそも倉庫、この図書だけだと。
1:06:10	H2 分の1は離れたところで調査してるように見えるけど、実際に出てきてる断面力図はそんな駄目なことじゃないし、公開を招きますよね。実際何をやっているのかっていうと、
1:06:23	どういう基準に対して、どこまでオーソライズして、安全側ということで設計効率化のために、オーソライズをどのようにそれをカスタマイズして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:35	どのように設計しようとしてるかっていうのをちゃんと書かないといけないんじゃないですかまずは自分たちが何をしたのかっていうことを書かないと、基準のことが、そう書いたとしてもそれを、
1:06:48	そのまま使っていないんであればちゃんと書かないと分かんないですよ。
1:06:53	計算書って、
1:06:56	RC証書のコピーじゃないので、実際には何をしようとしていたのかっていうことをちゃんと書かないといけないんじゃないですかね。
1:07:07	はい。中国電力の加島です。おっしゃる通りでございます。申し訳ございません。今回、弊社の我々の方が何をしたかということとそれが適切に読めるような読み込みができる運用の箇所ですね。
1:07:19	適切に取捨選択して、誤解が招かないを改めて再整理したいと思います。以上です。
1:07:25	お願いします。
1:07:28	それで、規制庁の三浦です。あと 100 補足資料のね、144 ページ。
1:07:34	今回、応力図をフェーズ 1 にこう見直しましたってちょっとおっしゃられた。
1:07:42	ご説明があったんですが、これ資料 3 のね。
1:07:46	37 ページ。
1:07:51	補足資料 144 の上の図と、あと、資料 3 の 37 ページに示されている上の図。
1:08:02	これは同意そのものじゃないといけないですよ。
1:08:07	一つフェース 1 を見直されたっていうんで、
1:08:11	塾力とせん断力の闘争 7 下の方の、中央面からの縦の線この永沢違っているとしても、
1:08:21	これ軸力と戦乱の応力図がこれ違ってませんか。
1:08:26	本来同一のものが入ってないといけないんじゃないですかこれ。
1:08:30	てる点も、
1:08:35	こういったこと。
1:08:40	少々お待ちください。
1:08:43	竹下。
1:08:53	ホールズーがきちっと先刻整合されてないから、計算なんかも信用できない。
1:09:04	物量の弾力化、中国電力の藤村です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:09	申し訳ございません。質問の趣旨のほう確認させていただきたいんですけども、今回、この資料 0104 の 5 の断面力図を修正させていただいたんですけども、
1:09:20	その反映が資料③の方にできていないという趣旨でのご質問ということでもよろしかったでしょうか。そういうことなんですけど逆に私聞きたいんですけど、④が正解なんですか。
1:09:32	資料 3 の方の 37 ページの方は、これは図が間違ってるんですか。
1:09:41	中国電力の藤村です。この度資料④の方を修正させていただいたんですけども、資料③につきましてはこれが
1:09:50	御清祥の計算書の方になりますのでこちら修正がまだできていない状況でございます。おそらくその修正し、
1:09:59	が反映されてないということで、統合が取れてないということだと思うんですけどもまた確認をしたいというふうに考えてございます。修正が間に合わなかったのはいいん。それはそれとして直していただければいいと思うんですけど。
1:10:15	先ほどのご説明だと補足資料の 144 は、断面算定位置に合わせてフェーズに応力図を直しましたっておっしゃってますね。
1:10:24	それだけじゃないですよ。
1:10:26	資料 3 の 37 ページ、これ応力軸力とせん断力図はもう分布が違ってますよね。
1:10:33	これはもともともうとにかく資料 3 の方の渦は信用するなんてことでいいんですか。
1:11:02	遊びました。中国電力の藤村です。おっしゃってる時期、承知いたしました。
1:11:09	貼り間違いの可能性もございますのでなぜ、異なっているのかということも含めて、確認をさせていただきたいというふうに考えてございます。はいお願いします。
1:11:19	それでね例えば補足の今度 147 ページ。
1:11:24	のこの下の図、固定部のせん断力、せん断力の小冊子、これ赤字で使われてる通りなんですけど、
1:11:33	これと、あと先ほどの添付資料の、
1:11:37	39 ページかな 39 ページの右下ですね。
1:11:43	これとこれが退院するんだけど、
1:11:46	これもう、
1:11:48	何か違うんですよ、せん断。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:51	せん断と軸力を見るとこれ何か図が違ってておまけに、底盤の方のせん断力の赤で書かれてるのが、500 とかって数字入ってんだけど調査は、
1:12:05	7 億 86 になっているので、
1:12:08	左側のね、406 万 446 ページの左側、
1:12:12	照査値は 786 になってますよね。
1:12:16	そうすると、添付資料 3 の 39 ページの下の図が、786 で、こっちが正しいような気がするんですよ。
1:12:27	だから、何か、
1:12:29	ちょっとこれを量子ズーン大丈夫ですかこれ、みんな 1 回きちっと整理チェックしていただいたらいかがですか。
1:12:41	あ、すみません中国電力のユリです。すみません冒頭説明する時にちょっと漏れてたんですけども、今回ちょっと断面力図の修正をですね④の方は行ったんですけども、
1:12:54	おっしゃるようにそれに伴いまして、
1:12:57	採用するせん断力、せん断応力度でありましたり軸力の関係が変わってきますので、
1:13:04	照査値を変更する必要がございます。
1:13:07	で、今回ちょっとその調査値の変更まで間に合いません。間に合わなかったのですよね、それをちょっと合わせて断面力図の変更と一緒に、
1:13:19	ご説明するつもりでございました。次回のヒアリングまでにはですね、こちらの調査地を、断面力に基づきまして、
1:13:29	修正する形でご説明したいと考えております。あまりこれ酷いと。
1:13:36	品質検査をしないといけないよ、そちらに立ち入りで昔やったよね俺がね。
1:13:42	覚えてるでしょ。
1:13:45	ちゃんとやらないと、JASMINEすと、則ってやるっていうね、形でやってるわけでしょうね。
1:13:54	それをダブルチェックやるっていう話をしてるわけですよねみずからね。なので、基本的にこういった問題がただ多くなると。
1:14:03	また
1:14:04	あれそうを品質保証の方に回せますよ、検査の方に。
1:14:10	そういうことにならないように、ちゃんと責任者も含めてですね、ちゃんと国に立つ資料なんで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:21	実際にフェーズが合うようにしないと、これ下手すると偽造みたいなもの んなっちゃうから、はり張ってるだけじゃないですこれ応力っていう一 番。
1:14:29	安全性に根本に関係するところなんで、そこが違うとなると、
1:14:34	会社としてのその品質、
1:14:38	保証の活動のあり方を全面的に見直していただくことになりますよ、よろ しいですか。
1:14:47	すいません中国電力の志水です大変申し訳ございませんでした今回ヒ アリング資料の方とですね、若干条件が合ってるというところもあってで すねその辺りの整合は、
1:15:01	ですね、我々も出してるつもりでございますけど、大変今回申し訳ござ いませんしっかりですね、
1:15:08	次チェックをしても同様な事例がないように対応していきたいと思いま すのでよろしくお願いいたします。
1:15:14	以上です。
1:15:15	ですけども、厳しくは言いましたけど、これが後から出てくると、本当 に何かした後に出てきたりすればですねじゃなければ、
1:15:25	どこからその分はそういうことが申告されたならば、それは直ちに品質 検査に入りますからね、気をつけてください。
1:15:37	はい中国電力シミズですありがとうございます。そのようなことにならな いようですね、じっくりしっかり社内でチェックしていただいて止めて対応 したいと思います。以上です。
1:15:49	規制庁の三浦です。よろしくお願い致します今回のだから、この計算結果 を信用するなと見るなという意味だと思えますんで、
1:15:59	ちなみにね例えば 140 補足資料の 149 ページ。
1:16:03	表 4-1-4-1、1 時断面の曲げ軸力の照査値が 0.616 って数字入って ますよね。
1:16:13	同じ補足資料の 143 ページ。
1:16:18	の上の下の小冊子は 0.1 は 618 ですよ。
1:16:24	これも何か、君数でしょうかね。
1:16:27	中国電力清水です。
1:16:29	ちょっと今枚使う音声の 1 分間ぐらいのスタートのところから、皆さんの 声が聞こえてなかったの、もしそこで発言されてるんだけど、はい、す いませんじゃ今これ聞こえます聞こえていますか。
1:16:43	はい大丈夫です。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:44	例えば補足資料の 149。
1:16:48	表の 4-1-4-1。
1:16:52	その 00101 断面の曲げ軸力照査の小冊子がコンマ 616 っていう数字が入ってますよね。
1:17:02	それに対して、補足の 143 の上の照査値を見ると、0.618 って数字が入って食い違ってますよね。
1:17:14	これは、
1:17:15	転記ミス、ほんなんかチェック不足って理解でいいですか。
1:17:40	本当に見る。
1:17:45	あ、中部電力の藤村です。おっしゃる通り、研究員数でございまして 143 ページの方が正で 149 の方。
1:17:55	が、誤りとなってございます。こちらの 0.616 が、0.618 が正ということでございます。失礼いたしました。はい。規制庁の三浦です
1:18:06	先ほど江崎の方から言われましたけどちょっと今回、非常にこういうふうなミスが多いという気がします後でまた出てきますけど表の、
1:18:15	表示番号なんかも結構、何か、全然違う番号がついたりってことも結構多々あるようなので、
1:18:22	ちょっと見直しをきちんとしていただいて、次回はその辺を修正して提出をしていただけるようにお願いします。はい。私からは以上です。
1:18:34	中国電力の藤村です。承知いたしました。大変申し訳ございませんでした。
1:18:41	はい。木崎浦です。それでは、
1:18:45	コメントのフィンコメントの 7 番と 12 番について、
1:18:52	他大丈夫そうですかね。
1:18:54	では 7 番については、了としまして 12 番についてはちょっと、規制の方ですね、ちょっと適正化していただければと、いうふうに思います。
1:19:05	はい。では次の説明をお願いいたします。
1:19:12	中国電力の藤間です。
1:19:14	それでは資料①の 1 ページ目をお願いいたします。
1:19:19	続きましてナンバー 9 のコメントでございまして。評価対象断面において、グラウンドアンカー等の各部位の安全余裕に着目して、約 T 溶液の着目すべき損傷モードを踏まえてその妥当性を説明することにつきまして、
1:19:34	回答内容をご説明いたします。
1:19:37	資料④の 18 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:48	資料④-18 ページでは、評価対象断面の選定における観点を示してございますが、この度選定の観点を再整理しております。
1:19:57	まず表の上から4番目の行におきまして、岩盤上面の傾斜の記載を追加しております。
1:20:04	岩盤上面の傾斜につきましては、一応2東方の下、海側に5から10°傾斜しております、大きな差異は認められないため、線選定上の観点としない旨を記載しております。
1:20:17	次に、一つ下の行の逆桐生駅周辺の摩擦、周辺の埋戻動につきましては、液状化により、傾斜方向であります海側に流動化し、逆器用駅の
1:20:30	地震応答に影響すると考えられますが、その動圧は岩盤の上限深さに依存すると考えられますことから、萬上面の深さの影響に包含されるため、選定上の観点としない方針に見直しております。
1:20:44	また、一つ下の表におきまして、改良地盤と施設護岸との位置関係を新たに追加しております。
1:20:52	改良地盤と施設護岸との間に分布する埋戻動は、基準化により、傾斜方向であります右側に流動しますため、改良地盤と施設護岸が離れている場合、約TOAへの影響は小さくなると考えられます。
1:21:08	改良地盤と施設護岸が近接している場合には、施設護岸外へ浄化しないため、改良地盤及び宅地擁壁の地震時応答加速度等に影響すると考えられますことから、
1:21:20	選定上の観点といたします。
1:21:23	最後に一番下の行におきまして、許容アンカー力に占める初期緊張力の割合を観点に追加しております。
1:21:30	詳細を15ページに記載しておりますので、ご説明をさせていただきます。15ページをお願いします。
1:21:41	15ページに許容アンカー力に占める初期緊張力の割合について、黄色で記載しております。
1:21:48	グラウンドアンカーの調査に用いる発生アンカー力は、初期緊張力に、地震時緊張力増分を加えたものでありまして、大半を初期緊張力が使命。
1:21:58	地震時増分が微小と考えられますことから、許容アンカー力に占める資金協力の割合は、照査調査値と同等となります。書記金城力については、耐津波評価におきまして逆T擁壁が転倒しないよう、
1:22:13	エリアごとに異なる値を設定しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:16	一方で初期緊張力に応じて、アンカー台帳を変更することで、許容アンカー力に占める初期緊張力の割合が 0.8 程度となるように設計しております。
1:22:26	以上のことからグラウンドアンカーの調査地は、どの地点でも同等となると考えられますが、割合に若干の差異があること、また、調査値が 0.8 以上と厳しくなると想定されることから、
1:22:38	選定上の観点とします。
1:22:41	17 ページをお願いいたします。
1:22:45	17 ページに先ほどご説明いたしましたグラウンドアンカーの処理について記載をしておりますが、こちらの右から 3 番目の列の下から、
1:22:58	4 番目に、エリア 4 の旧赤井力としまして、1765 というふうに記載をしておりますが、こちらが 1764 の誤りでございました。大変失礼いたしました。
1:23:13	続きまして 20 ページをお願いいたします。
1:23:23	先ほどご説明いたしました観点の見直しに伴いまして、21 ページの表にお示しております通り、評価対象斜面、
1:23:31	評価対象断面の選定を修正してございます。
1:23:35	1 日断面は、学生寮駅直下の改良地盤の幅が 12.6 メートルと狭く、許容アンカー力に占める初期緊張力の割合が 0.82 と最も高いことから、評価対象断面に選定しました。
1:23:49	また 4 段目につきましては岩盤上面の深さが 15.0 メートルと深いこと。
1:23:54	また、逆収益直下の改良地盤の幅が 12.6 メートルと狭いこと、
1:23:59	許容アンカー力に占める初期緊張力の割合が 0.81 と高いことから、評価対象断面に選定しております。
1:24:07	また 5 番目につきましては、逆 T 擁壁直下の改良地盤の幅は 19.5 メートルと広いですが、逆岩盤上面の深さは 18.5 メートルと最も深く、改良地盤と施設護岸が接していることから、評価対象断面に選定しております。
1:24:25	また、2、A2 断面登録 6 断面は、A1 断面と同じく、3.2 と 3.4 が該当しますが、2 段目につきましては、1 断面と比べて、岩盤上メンバーが嵯峨浅井ことから、1 段目に代表させております。
1:24:41	またロクロク断面につきましては、岩盤上面部カセがやや深いですが、23 ページの方に一次元地震応答解析による地表面応答加速度を示してございますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:53	こちらにお示しております通り、1次元地震応答解析による地表面応答加速度が、1断面に比べて6、
1:25:03	6断面の方が小さいことから、1波に対応させてございます。
1:25:08	なお、21ページの表の一番右下におきまして、表182-8参照というふうに記載をしておりますが、
1:25:18	こちらが表182-6のまりでしたので、訂正させていただきます。
1:25:23	大変失礼いたしました。
1:25:26	ナンバー9のコメント回答のご説明としては以上となります。
1:25:32	はい。鬼頭チギラです。ナンバー9に関する点と、ここはですね、評価対象断面の選定、
1:25:42	関連するところだと思うんですけど、その辺も含めてですね確認する点をお願いいたします。
1:25:49	すいませんちょっとナンバー9、
1:25:52	コメントしたので、ちょっと確認なんですけど、先ほど説明された、④の資料の18ページのところの、
1:26:02	改良地盤と施設5番、5番との間、位置関係なんですけど、ちょっと日本語が読みづらくてですね、確認したいんですけど、最初の部分は、中国電力の藤間です。
1:26:16	今、音声途切れて、
1:26:19	本当言うと、
1:26:22	喜多チギラですが、音声聞こえてますか。
1:26:32	よろしいでしょうか。中国電力の藤間です。今繋がりました。
1:26:36	はい。大丈夫ですかね。
1:26:40	最初から言いますと
1:26:42	コメントの等級ですね、No.9に関連して、④の18ページの改良地盤と施設護岸との位置関係の、この成因の内容について確認なんですけど。
1:26:55	このなんか日本語がちょっとわかりにくくてええと、結局、
1:27:00	改良地盤と施設護岸が離れている場合っていうのは、
1:27:06	逆T用液位への影響は小さくなるっていうのは何の影響が、
1:27:11	小さくなる。
1:27:12	というのがわからないんですけどそこを説明いただけますか。
1:27:31	施設護岸が、
1:27:34	改良地盤の方に与える影響が小さくなることで、施設護岸が逆流比木の方に与える影響が小さくなるという趣旨で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:45	記載をしてございます。
1:27:49	具体的に影響って何を念頭に書かれていますか。
1:27:56	教育電力の藤村です。
1:27:59	営業といいますのが地震時、
1:28:02	2、施設護岸。
1:28:05	が、与える地震応答。
1:28:11	あの施設護岸が、入れた時に改良地盤がアノ動圧を、
1:28:16	受けて、それによって逆に溶液の
1:28:21	応答加速度が大きくなるといったようなことを考えてございます。
1:28:28	小さく、
1:28:30	あ、わかりましたちょっとそこがわかるように、ちょっと見直してもらっていいですかね。
1:28:37	はい。中国電力の辻村です。承知いたしました。少しイメージがつきやすいような形で文章の方を修正させていただきます。はい。以上です。それと次の文章で施設護岸が液状化しないためであるんですけど、施設護岸って、
1:28:55	施設なんで、液状化しないのが当たり前かなと思ったんですけど、そこをちょっと、ここもう見直した方がいいかなと思うんですけどいかがですか。
1:29:25	規制とチギラですが、
1:29:27	当中国電力さん聞こえていますか。
1:29:31	中国電力の藤村です。失礼いたしました。ちょっと質問の趣旨ご趣旨の方、確認させていただきたいんですけども、施設護岸が液状化しないのは自明なので、
1:29:44	施設毎の液状化しないことからという表現をちょっと改めるようにという、いう趣旨でのご質問ということでよろしかったでしょうか。
1:29:51	そうですね。はい。それでここで言いたいことをちょっと言葉を変えてもらうとかですね、した方がいいかなと思うんですけどそのあたり検討してもらってもいいですかね。
1:30:03	中国電力の藤村ですおっしゃる趣旨理解できましたので修正の方させていただきますというふうに考えます。以上です。
1:30:10	よろしく願います。他に画面選定関係で、
1:30:19	規制庁のタニグチです。
1:30:21	ちょっと、
1:30:25	わからないところはあるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:28	個票カー交付の断面の整理とか観点について説明をしているのに、
1:30:36	例えば 17 ページと 17 ページとか 23 ページとか、
1:30:42	何か文章と関係ない、図面が入ってるように思われるんですけど。
1:30:49	これワー
1:30:51	ちょっと整理ができてないんじゃないかなと思いますけどいかがでしょうか。
1:31:12	を、
1:31:20	記録電力のフジムラです。
1:31:23	おっしゃる趣旨の方確認させていただきたいんですけども、17 ページに記載グラウンドアンカーの件を記載しております理由としましては、
1:31:34	18 ページの表にお示しております一番下の許容案外力に占める初期緊張力の割合の説明のために 17 ページの方の、
1:31:45	水を記載しているんですけども、こちらの方、記載の場所が、
1:31:52	ちょっとふさわしくないんじゃないかという趣旨でのコメントでよろしかったでしょうか。ちょっとここは観点のことを記載してて、よく見ると、17 ページとおんなg。
1:32:03	図面が 41 ページもあるんですね。
1:32:07	イメージ 41 ページにあるのはわかるんですけど、
1:32:10	17 ページに、こういう
1:32:14	整理の観点の説明のところ、その前のページにまたこういう図面があってそれで説明してるってのがよくわからない。
1:32:24	基本的に
1:32:28	やっぱり整理ができてないような感じがします。観点はこういう観点の部分、具体的に決めるに合った評価体制を決めるにあたってはこういう観点でありました。
1:32:40	その下、観点については、後のところで記載しますとかそういう表現であればわかるんですけど、
1:32:47	それがわからない。それから 23 ページ目の 1 次元の地震応答解析の解析結果を、ここに、
1:32:55	22 と 24 あるんです、23 と 24 があるんですけど、
1:32:59	これもう、今の、評価対象断面の選定のところにどう関係してるのか全然わからない。この辺がちょっと説明していただきたいと思うんですがいかがでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:16	中国電力の辻村です。まず 17 ページに記載しております図なんですけれども、15 ページの方でちょっとわかりづらいんですけども括弧書きで参照という形で記載をしております。
1:33:28	その場所がですね、黄色でハッチングしている 15 ページの黄色でハッチングしている営業の下カラー、5 番名になるんですけども、文章の一番最後の方に括弧書きで、図 182-14 参照ということで、
1:33:46	こちらの 17 ページのアンカー力の方、参照するような形で記載をしております。
1:33:53	また 23 ページの次元応答解析結果につきましては、これは
1:34:01	表番号の方の記載が一この度ちょっと間違っております、その影響かと思うんですけども 21 ページの表の方、
1:34:12	に記載をしております、一番右したの欄になるんですが、選定理由のところで、下から 2、2 行目の行の方で、括弧書きで参照飛ばしております、
1:34:24	表 18-8 っていうふうに書いているところ、こちらが先ほどご説明いたしました通り表 18-6 の誤り基金なるんですが、こちらの方に飛ばすような形で記載をしております。以上です。
1:34:39	はい、趣旨はわかりました。ただ、基本的に参考となる図書は、後に全部まとめるとかですねそういう書き方をしていかないと、
1:34:50	全体の流れとしてここは消火評価候補の断面の整理をするところであって、こういうところについて、
1:35:02	考慮して選定しましたっていうのが趣旨ですので、あんまりこういう解析結果だけポツンと何かここに入れう意味がよくわからないので、
1:35:13	参考にするなり、書き方をへの見直しをしてください。よろしく申し上げます。
1:35:20	中国電力の藤村です。おっしゃる趣旨理解できましたのでどこに載せるかということ踏まえてちょっと検討していきたいと思っております。
1:35:37	はい。よろしく申し上げます。
1:35:40	それからもう一つ、
1:35:44	20 ページのところに、これは 7 断面の負債があります。
1:35:53	これは、5 号断面に直交する縦方向縦ダム縦断方向の断面の話になって、止水目地の変形量と隣接する躯体同士のシアツ力を求めるために、
1:36:07	これを対象としました、書いてあるんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:12	基本的に⑦の位置付けがまあ、例えば今の表の1-8-2-5のところは、これは1から6までしか書いてなくて、⑦は、全く書いてなくて、
1:36:25	⑦は、
1:36:29	都度都度、結果、
1:36:33	例えば、
1:36:34	当応答解析モデルのところにも載ってきたりとかしてるんですけど、
1:36:40	出たり入ったり、このタイアノ、例えば耐震評価する項目によって分けてるということだと思いますけれども、ちょっと⑦の断面の位置付けが、
1:36:51	非常にわかりにくいので、ちょっと整理して記載をしていただきたいなと思いますがいかがでしょうか。
1:37:09	中国電力の藤村です。
1:37:11	おっしゃる通り斜めにつきましては、記載がちょっとわかりづらいふうな書き方になってございますので、どういうふうにしたらわかりやすい記載になるかということも含めてですね、検討して、
1:37:25	次回修正させていただきたいというふうに考えております。以上です。はい。よろしく申し上げます。基本的に⑦番目は、
1:37:33	88ページに地震応答解析モデルと書いてあるので、地震応答解析をやったように見えるんですけど、これは基本的に地震応答解析やってるんですよね。
1:37:49	中国電力の藤村です。おっしゃられる通り7番目につきましても、地震応答解析の方をして変形を、
1:37:59	の方算出してございます。以上です。はい。わかりました。ちょっとその辺、基本的に4月度調査と、変形量を確認するのが、⑦の目的の趣旨だと思いますけれどもその辺、
1:38:15	ちょっと整理して、わかりやすくしてください。よろしく申し上げます。
1:38:19	以上です。
1:38:23	はい。規制庁の照屋です。すいません私もちょっと今タニグチの話に関連すると、21ページ23ページのところの、0666断面ですね。
1:38:34	ここのところが、
1:38:37	登録と、一応、
1:38:40	比較して一井を代表するってところだと思いますけど、その理由として、23ページの1次元の地震応答解析の結果を持ってくるということになってるんですけど、
1:38:54	これってでも、
1:38:56	結果としては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:58	あまり大きな差がなくてこれで決定要因じゃないような気もしては すね、今まで1断面というのは代表的に代表的な断面ですって説明 があったと思いますので、
1:39:12	何かこのロクロク断面を1市1断面に代表させるっていうのはすねも う少し
1:39:25	ちょっと記載をすね理由をすねもう少し、
1:39:29	工夫した方がいいかなと思うんですけど、その点いかがでしょうか。
1:39:58	規制庁チギラです。はい。すみません聞こえてましたか。
1:40:04	難しい。
1:40:07	途中から23ページです。
1:40:15	中国電力の藤村です。ちょっと先ほどまで少し途切れていったような ので、はい。
1:40:23	すみませんじゃ
1:40:26	一段、⑥断面を、①断面に代表させるっていう理由がすね。
1:40:34	もう少し今、1次元の結果を出してもらったんですけど、あんまり大き い く る。
1:40:42	違うないので、
1:40:43	あんまり決定要因にならないんじゃないかなと思うんですけど、そのあ たりいかがですかね他に。1度、1画面っていうのはもともと代表的な断 面ですってということ。
1:40:57	だったと思うんですけど、その辺の理由。
1:41:02	とすね絡めて何か説明した方がいいような気がするんですけどい か が す か ね。
1:41:10	はい中国電力の伊井です。おっしゃる趣旨、理解いたしました。我々の ロクロク断面の1段目比較するに当たりまして、なかなか違いがないと いうところもあってこういった成功をやって、多少なりともその1の方が 大きいということで、
1:41:29	いちいちと選定してる次第でございますけども、今おっしゃったような代 表断面の話とかですすね今までの経緯も含めまして、
1:41:37	ちょうど1段目の代表性の選定理由のところの記載を充実させたいと 思います。以上です。はい。よろしくお願ひします。
1:41:46	あと他、いかがですかね。大丈夫そうですか。
1:41:50	はい。
1:41:51	それでは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:53	コメント9については基本的に綱領としてもらって、それで記載については適切に適正化していただければと思います。それでは次のコメント回答をお願いいたします。
1:42:07	中国電力の藤村です。それでは資料①の1ページ目をお願いいたします。
1:42:14	続きましてNo.13のコメントでございます。グラウンドアンカーのグループ効果について考慮する必要性の有無を確認することにつきまして、回答内容をご説明いたします。
1:42:26	資料④の244ページをお願いいたします。
1:42:37	244ページの上側にグラウンドアンカーのグループ効果についての記載を追加してございます。
1:42:43	図の4-9に設計施工基準を抜粋してございますが、アンカーが密に設置されている場合、グループグループ効果により、アンカーの極限引抜き力が、
1:42:55	減少する場合がございますが、逆PO駅に設置されておりますグラウンドアンカーは、設計施工基準に準拠し、設置間隔1.5メートル以上で設置されておまして、
1:43:07	グループ効果により、極限し、引抜き力が減少する恐れがない旨を記載してございます。No.13のコメントについてのご説明は以上となります。
1:43:17	規制庁の服部です。
1:43:19	理解しました。私からは以上です。
1:43:30	規制庁、広井です。
1:43:32	それでは次のコメント回答をお願いいたします。
1:43:37	中国電力の藤村です。資料01の1ページ目をお願いいたします。続きましてナンバー14のコメントであります。ばらつきの影響を確認する地盤について、岩盤のばらつきを考慮しない理由を説明することにつきまして、
1:43:52	回答内容をご説明いたします。資料④の55ページをお願いいたします。
1:44:04	55ページの中程に埋め戻しの進め戻し動のみばらつきを考慮する理由を箇条書きで2点記載してございます。
1:44:13	まず一つ目に埋め戻し量は広範囲に分布しており、動的変形特性にひずみ依存性があるため、地震時の繰り返し差異化により剛性低下することから、剛性の違いが地盤応答に影響し、逆注意機能等に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:27	影響します。二つ目に埋め戻し度は、地震時の繰り返し再開により液状化し、有効応力が低下することから、剛性の違いが改良地盤に対する指導動圧に影響し、
1:44:39	逆に溶液の応答に影響いたします。以上の2点から、約地上駅の応答に与える影響が大きいと考えられます、埋め戻しの物性のばらつきにつきまして、影響を確認することいたします。
1:44:52	ナンバー14のコメントの回答のご説明は以上となります。
1:44:58	はい。規制庁の仲村です。前回からですね、文書の方、変更修正していただいて、
1:45:10	埋め戻しの方の物性の方が影響が大きいということ記載していただいたので、これで理解しました。
1:45:19	はい。
1:45:25	規制庁、日浦です。
1:45:27	この点についていかがですか。大丈夫ですかね。はい。では授業料としまして、次のコメント回答をお願いいたします。
1:45:38	中国電力田井です。それでは資料1 回動整理所コメントNo.15について回答させていただきますコメントの内容がですね、イトウ雑賀実験における軸力設定値有川の考え方について説明することとあります。
1:45:52	パパイトウを進めていただきます。資料4の316ページをお願いいたします。
1:46:03	イトウ結合部モデルの妥当性確認の章といたしまして、イトウ追加的に示す試験結果と2次元FEM解析結果のフクイ動接合部の応力と比較し、国と鉄道部の妥当性確認を行う省となっております。
1:46:17	筒井都竹 317 ページでは実験値からジック力と曲げモーメントの関係について算出しております。それでは 318 ページの方をお願いいたします。
1:46:30	イトウ再開実験では圧縮方向に軸力を導入していきまして、軸力を引っ張り方向に差異化していないことから、軸方向に引っ張り側の軸力杭と拘束モーメント関係を保管しております。
1:46:42	図 5.2-3 に示しております事故方向軸力と曲げ耐力の関係を、ちっちゃい土、
1:46:50	図中の、
1:46:51	曲げモーメントが0のときの軸引張耐力を算定しまして、引っ張り側の軸力曲げモーメントの関係の補完を行って今、
1:46:59	ページ中央にですね軸引張耐力の算定式を示しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:04	9月イデ 319 ページお願いいたします。
1:47:08	移動性実験値の軸力、杭頭拘束モーメント及び算定した軸引張耐力を軸、実構造物のスケールに換算しております。
1:47:16	換算した軸力杭と拘束モーメントは、下の図に示しております。
1:47:22	イデ 320 ページの方をお願いいたします。
1:47:29	20年度で桐山甲斐水系から獲られた軸力及び確定モーメントをプロットいたしまして、
1:47:35	こちらからですね実験結果から獲られた審議結合に移行する応力状態に達していないため、杭頭部は近似結合に落ちていないと判断いたしました。
1:47:46	そのためですね防寒着の影響検討におけるイトウ結合部モデルを剛結合としたことは、引張画を考慮しても妥当であると判断いたしました。
1:47:55	コメントNo.15 に関しては以上になります。
1:47:59	はい。とりあえず、それでは、コメントNo.15 に関してを確認する方、お願いいたします。
1:48:20	すいません規制庁タダウチです。
1:48:23	引っ張り方向の一応検討するのはありがとうございますそうするとねちょっと、
1:48:32	おさらいもちょっと兼ねていろいろとちょっと確認をさせていただくんですけども、
1:48:40	316 ページの図を見るとですよ。
1:48:45	国友区イトウ高速方面等の話でいうと、今働いてるこの図でね、図 5 ポツ 2-1 の供試体側面図のところ、
1:48:58	軸力として差異化するものを水平荷重、荷重として交番荷重で差異化するものというものと、
1:49:06	あとは実際のスケールとして長沢部長が二名、2.97 という話があってこれが水平荷重を、を加えることによって変位しますと、その辺してクリントン
1:49:22	コウソクモーメントの中心力の軸力点のオフセットの距離掛ける軸力が、アーキイトウモーメントに付加されるということで、杭とモーメントとしては、
1:49:36	水平荷重掛けるアーム長と軸力掛けるオフセット長さのモーメントの 5 モーメントが実際に働く杭と拘束モーメントということでよろしいですねまずここ確認させてください。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:53	中国。失礼しました。中国電力田井です。おっしゃる通りの理解で間違いないです。以上です。はい。ありがとうございます。その上でですね規制庁タダウチですけれども、
1:50:03	実際の実験をやりましたっていう話になると317ページ水平荷重とこれ水平変位っていう関係でいうと、
1:50:12	当然水平荷重かけていくんですが軸荷重の方が大きいほど正直ネモトとしては押さえつける
1:50:25	定性的に言うとね、そんな話になるので、緑の軸力が大きいほど水平荷重に、何となく訴えてヒンジ結合には移行しないっていう話になって逆に、
1:50:40	軸力が少なくなると
1:50:44	水平荷重が小さくても、人事結合へ移行してしまうというような話になるかと思うんですけどその認識でよろしいですか。
1:50:57	中国電力田井です。おっしゃる通りの認識で間違いないです。はい。この5ポツ2ポツが2-2が示すのは多分そうなのかな、かなと思います。はい。
1:51:08	その上で、319ページこれが多分包絡する図、軸力と曲げモーメントの図になっているということで、
1:51:18	ここの原点のところについてはさっき言った今度引っ張りの方は考えるのでモーメントイコールゼロという式にして、
1:51:27	つり合いの式にしてそこが要は、水平荷重と軸力のセット額が、要は、
1:51:36	釣り合うところがゼロになるということでここを求めてるってことでよろしいんですね。
1:51:58	中国電力の甲斐です。
1:52:00	そうですねクリア飯野式は、そうですね1、そちらで算出しているのが、軸引張耐力の理論値になりますので、算定式といたしましては、ページ需要の算定式、
1:52:14	での算出となっております。先生お答えになっておりますでしょうか。わかりましたすみませんありがとうございます。
1:52:21	そうするとね320ページとしてはこの奥津アノ曲線通過ヒンジ結合移行のところの仙台に、
1:52:31	FM解析の結果のものが包絡されているんで、ヒンジ結合には至ってないって話になるとそういうことでよろしいですね。
1:52:45	中国電力の田井です。はいおっしゃる通りの認識で間違いないです。以上です。はい。ありがとうございます。そうすると

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:54	えーっとですね、
1:52:57	これあれですか二次元。
1:53:00	動的FM解析の話は、
1:53:05	何かあれでしたっけ実際の、
1:53:07	あれだけのSsなんか入れてやってんだっけこれ。
1:53:11	実際のところは、
1:53:13	これ何を入れてるんでしたっけ。ごめんなさい。僕はちょっと中身を理解してないのかもしれないけど、
1:53:20	中国電力の田井です。資料のページでいきますと306ページに、二次元動PVN解析の評価方針をお示ししております、対象とする地震動がですね、一番上から、
1:53:34	2行目以降になります。5号断面のSs-Dーーを、鋼管杭の影響検討の基本ケースとしております。以上です。すいません規制庁戸田です。ですから、
1:53:45	調査結果として厳しいものを選択して入れてるっていう意味では解析としては一番、
1:53:54	うちらそんなものを入れてやっているんでそれでも、一応ヒンジ結合にはならないよっていうそういう評価ということでもよろしいんですかね。
1:54:05	中国電力田井です。はい。解析対象とする地震動が評価結果が最も厳しい地震動を対象としておりますので、そういう認識で間違いありません。以上です。はい、わかりました。
1:54:19	ちょっと一応確認なんですけど一応、
1:54:22	軸力としてはマイナスの方の青プロットもあるっていうことは、引張力が発生している杭もちゃんとあるよっていうことでこの中に包絡されてるってことでよろしいんですね。
1:54:38	中国電力タイですはいおっしゃる通りの認識で間違いありません。以上です。ありがとうございます。
1:54:44	わかりました結果としてはだから今想定される地震動の中において、解析結果からはヒンジ結合には至らないですよって一応結論終えているということになっているという認識はわかりました。
1:55:00	これ、実は特にグラウンドアンカーの引っ張り力をこの二次元FEM解析の中に入れてる入れない、入れてねってのは何かあるんでしたっけ。
1:55:10	これは含めていない。
1:55:17	中国電力の田井です。ブランドアンカーの考慮ですがモデル化も含めて考慮したモデルとモデルという返答となっております。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:26	規制庁タダウチです。わかりましたそうするとね、いや、グラウンドアンカーの引っ張り力として例えばそここういうものから、大体最低これぐらいの引張力はあらかじめかけておかなきゃいけないとかっていうのはあるんですか実際のところ。
1:55:47	いや何を言いたいかという、上下動か何かがあって引張力がある程度いっちゃうと、この領域を逸脱してヒンジ結合にいと簡単に至ってしまうような状態にならないために、グラウンドアンカーの、
1:56:00	要は引張力はあらかじめテンションかけとくって話があるのかどうかというところを聞いてるんです。
1:56:19	はい中国電力のユリです。
1:56:21	すいませぬご主事、ちょっと理解できてないかもしれないんですけどもグラウンドアンカーにつきましては前段ご説明しましたですね、許容アンカー力の約8割ぐらいの初期緊張力をかけるような、
1:56:35	設計というか施工しております、
1:56:37	この鋼管杭で、軸力引っ張りが出ないようにするためにグラウンドアンカーの緊張力をかけているという、そういった設計ではないと理解しております。以上です。
1:56:49	はい規制庁忠わかりましたそうすつとネモトアノ。
1:56:54	杭にね、期待しないからまあいいや、って話のところと、ヒンジ結合にならなきゃいいやっていう話と、
1:57:04	このピン結合のところの、モーメントとしてね、鉄筋が破断し直るくらいになるっていう関係。
1:57:15	どうなんのって話は別に、そしたら、
1:57:18	ピン支持になろうがならないか関係ないんじゃないんですかみたいな話だあってあるんですかね。だあって、御社の記載によれば、5結合等をしたことが、
1:57:30	示されりゃいいんだよっていう話にはなるんだけど、本来それに対してはあらかじめその
1:57:40	ようわあ、8割ぐらいでね、グラウンドアンカー引っ張ってるいう前提があったから、こういうふうにはなってるって話なんだけど、品ジョイントにならなくならないっていう話を、
1:57:52	ちゃんと真面目にやりたいう話になると、本来だったら、自重もあるんだろうけれどもね、それプラス、グラウンドアンカーでのね。
1:58:03	引っ張り力っていうのが、最低これぐらいの変ナイトウピン結合んなっちゃうから最低これぐらいはきっとあるだろうね。それに実際の施工は、こ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	れぐらだから十分包絡してるから問題ないよねとかいう話になるんなら何となくわかるんだけど、
1:58:20	いやそんなの関係なくグラウンドアンカーとしてこんだけ引っ張ってりゃいいやっていうのがあるから実際設計の通りにこのシミュレーションやってみたら持ちちゃうからいいですよっていう示し方なのか。
1:58:33	どっちかっちゃうと後者のことでいいんですかね、結果論としてこうなってるから。
1:58:43	はい中国電力のユリです。結果論としてはですね、グラウンドアンカー出金聴力入れたもので、
1:58:53	Nインタラクションと実験結果を踏まえたこのヒンジ開口の線ですねこの内側に入ってるっていうことを確認できた意味ではですね、
1:59:03	言われてる後者に近いのかなと思ってます。以上です。
1:59:07	はい、規制ん。
1:59:15	規制庁の江寄ですけども、
1:59:17	オオグマと名の文章がちょっとね目的は離れちゃってんじゃないかと思っていて、
1:59:24	一番大切なのは、杭を残置したことによって膨張てに対して悪影響はもたらさない。
1:59:32	て言いたいんですよ。それをはっきり家具悪影響をもたらさないって言ってください。津波防護機能を損なうようなことにはなっていないと、それが大事なんで、
1:59:43	いわゆる杭は期待しないけども、っていうことになればそれ団地するんだけど、
1:59:48	男児しいたとしても、いわゆるヒンジに、
1:59:53	ならなければ、基本的には、
1:59:57	逆Tの擁壁に対してひび割れ等は起こさないわけですよ。他号結合はどう妥当だとかそんな話じゃなくて、基本的には、
2:00:08	一番大事なものは、
2:00:12	部位を残したとしても、
2:00:15	ボート上の傍聴席に、浸水防護機能を、を創出するような影響は与えない。それが大事なんですよ。違います。
2:00:26	そもそもヒンジにするっていう設計をしているから、
2:00:30	ここ、いわゆる逆転溶液を壊しちゃって壊れてぶらぶらにしますよっつってんでプラプラになっちゃうとフーチングがばりばりになっちゃってて、そういうことにはなっちゃいけないよねっつと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:42	そういう分だけど、基本的には地盤改良して、アンカーは止めてるから、そういったことにはならないだろうけど、ちゃんと確認しないといけないよねってそういうことだと思うんですけど。
2:00:53	ほとんど。
2:00:54	許可で言っていたことはそういうことだと思うんですけど、違いますか。
2:01:02	中国電力の杉です。江崎さんおっしゃる通り、284 ページのフローを示していますけど、後、説明をご説明しました通りこのスタートから、
2:01:15	柱に流れていく流れがですね今回我々が宿題としてもらってる流れだと思ってます。実験したり解析したりしてですね、
2:01:25	一番最後の四角になってますけど、鋼管杭の悪影響検討がするという事で(2)に書いてますけど底盤部の曲げセミナー、要はフーチングのテープが壊れないかっていう話と、コアの件は、
2:01:40	せん断されないかということと周辺の地盤を見ても局所安全部が問題ない数字かということをもって、今回鋼管杭の影響は軽微であるというご説明をしております。最後土地、
2:01:54	言葉も悪くて軽微っていうのはちょっとなくて、
2:01:58	軽微ってのはどのぐらい程度っていう話になっちゃうからそういうことじゃなくていいって僕が言ったように、
2:02:03	防潮庭としての機能損失はないですと残置しても、
2:02:10	ないとはっきり書いて言わないといけないんですよ。はい、おっしゃる通り、麻生、ちょっと相談しないと、ああいう形になってますんでそこははっきり書かせていただきたいと思います。
2:02:21	で、その検討する過程においてですね条件オクイトウどうなるかという条件を設けないといけないということで、最後、御説明示しましたアノモデルなんかはですね 9 イトウを纈纈にしてるというモデルとしてあげるといことに対して、
2:02:38	良い方がいいのかという検討のところがですね、ちょっと入り込んでくるというかそこがちょっと何か主語タイみたいになってるので、纈纈かどうかというところがですね何か最後まとめにもなってますので、本流というカセさんの方も説明しないといけないのは、
2:02:53	鋼管杭の影響がないと、いうことをご説明するようなちょっと資料構成も含めてですね、検討してみたいと思います。以上です。
2:03:06	規制庁多田です。最終的には、まさにそこだと思っていたんですよねだから、
2:03:13	ちょっと切り出しで何か見見ちゃうとね、5 結合であることが何か、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:24	薄んね正義じゃないけれども、何かそんな話になっちゃうようなイメージがね、ちょっと資料の中が、
2:03:31	ちょっとにじみ出ちゃってるところもあって最終的にこの部分は一体何を言いたいのかっていうとモデルの妥当性としてね、確認するために、要はその
2:03:41	O5 結合であるよっていうだけをお願いがためっていう話だと思っはいるので、最終的にはこのまとめのところの後、5 ポツっていう中では、
2:03:52	確かに剛結合ですよっていう話の、要は、解析モデルとして 55 にしたところは特に問題なさそうだっていう話なんだけれどもその前提条件として、
2:04:04	どうなのよっていう意味では受注力も当然かかってるしなんだろうという形で、一応織り込んでいるから結果として 5 結合ですよだから僕が言ったのは、後者のことでもいいんですよってというのがそこじゃないかなと思っはたんで、それについては特に異論はないと思っはます。はい。
2:04:19	現象論としてもよくわかりましたので、はい。一応考察していただいてありがとうございますはい。あと先ほど江崎も言ったように、結論として最終的に何を求めているのかっていうところだけしっかり外さないようにしていただければ、
2:04:34	よろしいかと思っはますので、あくまでも傍聴て、
2:04:39	何を、何の機能に期待するのかっていうところだけはしっかりと押さえていただければと思っはます。以上です。
2:04:50	あ、中国電力の清水です。田野さんおっしゃられた通り、我々も理解してましてですね、何かこの資料の部分的なものを見るとまた杭を書かせるとか、議論しないようにも見えないような資料になってるようにも見えるので、
2:05:07	我々そんなことページで思っはてるわけでもないし、そんなことを主張したいわけでもないんですけど、こういう計算モデルを計算を作るモデル化する上でですね、こういった検討しているところがちょっと、表に出てきているところもありますのでちょっと資料の記載をしたいと思っはますありがとうございます。
2:05:27	規制庁のハツトリです。
2:05:33	裏方とする。
2:05:40	中国電力の内村です。少しまた音声途切れているすみませんすみません今、音声を綴じ途切れてるというしゃべってないだけだったんですが、すみませんちょっと

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:51	私からちょっとすす関連して1点だけ確認したいんですけど。
2:05:55	今の280ページのところ2、参考資料2として鋼管杭の影響検討について書いてあって、
2:06:02	ここの申し送り事項の説明方針が書いてあるんですね。
2:06:07	この申し送り事項の説明方針としては、
2:06:10	アクゲキを検討しなさいということが申し送り事項になっていますと。
2:06:16	悪影響を検討するときにはその検討条件として、杭等の力学と食う挙動を確認して、それを適切にモデル化に反映しなさいという、この二つの
2:06:27	柱でが申し送り事項になってるって言うんですけど、先ほど江崎も言ったように、最終的な申し送り事項の真のことは悪影響要するに津波津波防機能への悪影響がないこと、要するにひび割れが大きく発生して、
2:06:43	そこは水みちにならないことということなので、
2:06:46	今回
2:06:49	審査会合における説明においては、
2:06:52	幸運なんだろうここに書いてある説明方針の二つ目だけではなくて最終的なその方針をメインに話していただける、説明していただけるというふうに理解してるんですけど。
2:07:04	それは大丈夫ですかどうぞ。
2:07:11	はい。中国電力のユリです。今までのご指摘確認内容踏まえまして我々もそのように考えておりますので、こちらの申し送り事項等に記載している説明方針につきましても、
2:07:24	見直し見直しあの後修正させていただいた上でご説明していきたいと思えます。以上です。規制庁のハットリですはいわかりました審査会合でここで止まっちゃうとまた話があればなので、そこはちょっとしっかり説明していただきたいと思えます。私から以上です。
2:07:44	中国電力井手承知いたしました。
2:07:48	規制庁タダウチですちょっとこの280ページの記載のところだけちょっと、ちょっと確認なんですけれども、
2:07:57	上から、
2:07:59	何業務でいい。
2:08:00	そう。
2:08:03	こんな7行目ぐらいから第270回審査会合においてというくだりの次の行。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:10	杭先端のせん断抵抗に期待しない設計を行うよう指摘を受けて書いてあるんですけど、この表現って正しいんですか。
2:08:23	設計をどうするかは事業者、
2:08:26	やるんだと思っているんですけども、
2:08:29	コメントを受けて、中国電力の方設計を何かこういうふうに変更しました検討しましたっていうような、
2:08:38	意味合いなら僕は理解できるんですけどダイレクトに混乱した指摘を、
2:08:43	手仕事ですかねちょっとすいません、念のための確認なんですけど。
2:08:52	はい中国電力のユリです。おっしゃるようにちょっと書きすぎとかちょっと間違った記載になっておりましたあくまで指摘につきましては、CG版への刀禰入れが0.5メートルと浅いため、
2:09:06	検討を行うようにご指摘を受けまして我々の方で、杭先端のせん断抵抗に期待しない設計ということで、鋼管杭を見込まない設計に変更したものでございます。こちら適切でございませんので、
2:09:19	記載につきましては適正化したいと思います。以上です。はい、すみません、よろしく申し上げます設計の主体はあくまでも事業者だと思ってますのでよろしく願いいたします。
2:09:32	はい、鶴来です。承知いたしました。
2:09:37	はい。規制庁チギラです。コメントナンバー10行。
2:09:42	よろしいですかね。はい。じゃ、15についてはこれは回答されてますので、今、タダウチとあった話についてはですね、
2:09:55	適切に記載の方ですね適正化していただければというふうに思います。
2:10:03	コメント回答については、以上かと思えます。すいませんちょっと時間もですね2時間超えてますので、ここで一旦休憩を入れたいと思いますので、
2:10:13	また、休憩後ですねヒアリング再開したいと思います。
一時中断	
0:00:01	規制庁チギラです。それではヒアリングの方を再開いたします。
0:00:06	では中国電力の方から引き続き説明の方をお願いいたします。
0:00:14	はい。中国電力田井です。それでは、資料番号1-2ページからですね、適正化箇所及び新規の箇所についてご説明させていただきます。
0:00:24	ではコメントNo. 22以降、抜粋してご説明させていただきます。コメントNo.21ですね、資料番号4-38ページをお願いいたします。
0:00:36	では38ページにですね、1台の詳細ということで、五、六、3ブロック間に設置されてます時代の写真について追記しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:48	では鈴木委員。
0:00:51	まして、コメントNo.34 に移ります。佐藤島オチページ 185 ページをお願いいたします。
0:01:07	185 ページ以降ですね改良地盤の滑り安全率による評価結果ですねこちら風荷重を考慮し、解析をし直したことから、解析結果を修正しております。
0:01:19	185 ページ 186 ページの滑り安全率及び、187 ページ以降の主要 6 図ー安全係数分と修正させていただいております。
0:01:33	続きまして 156 ページお願いいたします。
0:01:45	ですね最大せん断ひずみ分を追加しております。坂野最大せん断ひずみ分布を確認するため、各施設の調査値のうち、添 5 を超える所達で最大の調査値を示す解析系について、
0:01:59	石本解析の全時刻における最大せん断ひずみ分布を、157 ページから 162 ページにかけてお示しております。
0:02:10	続きまして、1 ページ 171 ページをお願いいたします。
0:02:17	はい。
0:02:24	事務、171 ページがですね適正化リストのナンバーが 38 になります。
0:02:31	こちらは隣接するサイボウズの気圧調査に関しての項目になりまして、
0:02:38	こちら評価において舞台同士の接触面積が、現場の加速度最大時刻における面積であることを追記しております。
0:02:45	またページ下部の方にですね、隣接する対応時の挙動を確認するため
0:02:52	所達がタイ 0 となるケースにおいて、南側躯体及び中国大間の天端の変位を確認した結果、それぞれの部隊は同一で変位しており、逆位相によるタイ同士の衝突が発生していないことから、
0:03:04	FAROのぐらいの応答加速度を考慮しないで評価が保守的であることを旨を記載しております。
0:03:11	続きまして主要ナンバー1 の 4 ページですね。
0:03:18	規定化No.の 45 になります。200、資料ナンバー4 の通しページ 202 ページの生活になります。
0:03:28	こちらがですね、棒配備前面の接続側の損傷による影響検討といたしまして許可しております。
0:03:36	某廃棄の前面にはですね全線にわたって施設護岸が設置されており、設護岸の人には規則停止及び堰を設置しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:45	これらが設置されるためにおいて、降灰系の変形及びテーブルことが想定されることから、接岸並びに基礎捨石が損傷した場合を想定し、まとめこれらが無い場合の検討を実施しております。
0:03:58	これらの評価結果をですね、205 ページ以降に示しております。
0:04:04	本検討の結果、施設護岸が損傷した場合の調査値は、接合案あり得した場合と比べて有意な差はなく、その影響が軽微であることを確認しております。
0:04:15	ウエダ階への適正化箇所ですが、ナンバーが 52 になります。資料ナンバー 4 の 219 ページをお願いいたします。
0:04:29	こちらがですね、改良地盤 8 の営業検討となります。1 時間の滑り安全衛生の向上を目的として、施工されている改良地盤発信 8 について、
0:04:40	自主的な対策をしていることから、広範囲の耐震評価では、当該改良地盤を考慮しないこととして、改良地盤 8 による営業利益の影響を確認するためモデル化した影響検討を実施しております。
0:04:53	後の評価結果はですね 221 ページから 224 ページにかけてお示しております。
0:05:01	本検討の結果ですね、会場地盤 8 をモデル化した場合の評価は下ですね、施設の管理とした場合と比べて有意な差はなく、
0:05:09	その影響は軽微であることを確認しております。
0:05:14	新規及び規制課長についての説明は以上となります。
0:05:23	はい。規制庁チギラです。別途説明わかりました。
0:05:26	それでは、規制側から、今の説明内容も含めてですね後、それ以外ですね、
0:05:34	確認する点がある方、お願いいたします。
0:05:41	規制庁のミウラです。今ちょっとご説明いただいた補足資料の 171 ページ。
0:05:50	なんですけど、
0:05:51	これあれですよ。北側と南側中央と南がこの間にジョイント要素があって、
0:06:00	天端が最大になる時刻の隣接、躯体同士の接触面積っていうのは、
0:06:07	その点×加速度最大なる時刻にジョイント要素に圧縮力が働いている部分の面積を、
0:06:16	トータルした合計したっていう理解でいいですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:22	はい。中国電力ユリです。おっしゃる通りの理解でございます。以上です。はい。それはわかりました。次に次のページからこれ慣性力Mを求められてますよね。
0:06:35	このフワーえっと、具体的にどのように求められてます。
0:06:46	少々お待ちください。
0:07:11	中国電力ユリです。お待たせいたしましたアノ 119 ページ、増進 1 ページで 119 ページをお願いいたします。
0:07:21	こちらに隣接する具体同士の 4 月の調査の具体的な調査方法を記載しております、このFの算定でございますけども、こちらに記載してある通り、逆急激の出漁に、
0:07:34	時刻歴の時、地震時角度をかけ合わせることで、時々刻々の慣性力を求めて、別途調査を行ってございます。以上です。
0:07:45	規制庁の上田ですこの時の、躯体、
0:07:50	うん。
0:07:52	躯体にシアツ。
0:07:54	ちょっと待ってね。
0:07:59	逆転益の質量というのを全周入れてるのですか。
0:08:07	はい中国電力ユリです。おっしゃる通りでございます、加来北川区タイ 10 オクタイ南側具体、それぞれの全質量を入れております。はい、わかりました。ここはあれなんですね各躯体の全質量に天端の最大応答加速度を
0:08:25	入れてあって、それで質量をもっと慣性力を求めてるっていう理解でいいですか。
0:08:33	中国電力李です。おっしゃる通りでございます。わかりました。非常に私的に求められたということで理解しました。
0:08:41	それと次なんですけど、
0:08:47	ちょっと待ってね。
0:08:56	ちょっとちょっと私とりあえずここまでにしますと、でてしまう。
0:09:08	規制庁のハットリです。
0:09:12	とですね。
0:09:14	そうです
0:09:17	ページ数でいうと、どこにしようかどこ。
0:09:20	203 ページにしますが 203 ページ。
0:09:31	そうですね 203 ページですね。すいませんここですね、影響評価、営業検討やってるんですけども、この影響検討をやるに当たって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:43	断面等、検討ケースと地震動の選定なんですけれども、
0:09:50	これ照査値が最も厳しい。
0:09:54	ものを選びましたということで、このケースを選んではというふうな記載になってるんですけれども、例えば、125 ページ。
0:10:16	例えばこの 125 ページを見ると、
0:10:19	例えば 5 号断面だけを見ると、
0:10:23	地震動ワー、確かに曲げ等、グラウンドアンカーはANSN+プラスなんですけれども、せん断についてはSs-Dのーが最大になってますし、
0:10:38	例えばグラウンドアンカーだけで見る等、例えば⑤断面より①断面の方が大きいということで、
0:10:46	調査値だけを厳密に見ると、
0:10:50	必ずしもこれがクリティカル。
0:10:53	とは言えないと思うんですよね。
0:10:56	例えば、これは最も厳しくなってないんじゃないかというこういう指摘も、こういうふうにか、こういうロジックでやると。
0:11:06	出る可能性もあるんですけれども、
0:11:09	ここでの選定は、調査値、
0:11:14	に加えて、
0:11:16	その他の着目点も踏まえて総合的にこういう、このこれとこの声このケースに絞りました。
0:11:29	というようなロジックを立てないと、
0:11:32	このままだと、
0:11:33	つつ指摘を受けて、断面が増えていく可能性もあるんですけれども、
0:11:40	ロジックについてはこれでは不十分だと思うんですがいかがですか。どうぞ。
0:11:49	はい中国電力のユリです。
0:11:53	今 2 点の観点からのご指摘というかご確認いただいたと思っで、
0:11:58	まず 1 断面 55 断面あるけど断面選定として影響検討の断面として 5 号断面が適切かという観点と、照査つちゅう見た時にですね、
0:12:09	曲げ軸力系グラウンドアンカーは確かに厳しいが、せん断を見たときには、地震動が違うんじゃないかという地震動の選び出しの観点から 2 点の指摘だと思っでます。
0:12:21	まず前段の断面選定につきましては、これ施設護岸な自然なしの形成なんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:28	5 断面が、施設護岸に最も近接しておりまして、これ断面選定の 3 点、評価対象断面の選定の観点の時も申し上げましたけど、近接している方が、
0:12:41	前面の影響が大きいと思っております。逆に離れていると液状化し精鋭と海側に流動化するので、
0:12:48	施設護岸があろうがなかろうがあまり影響はないだろうと考えておりまして、そういったところを追記させていただければと思っております。
0:12:58	でも、もう 1 点後者的の方の地震動の選び出しの観点につきましては、
0:13:04	今現状考えておるのは、曲げ軸力系、合わせてグラウンドアンカーと二つ調査項目が厳しいというところもあって、
0:13:12	Ss-Nアノ++という、いう地震動を選定しております。
0:13:17	こちらもちよつとそのような記載をさせていただければと思っております。以上です。
0:13:25	規制庁の服部です。はい。例えばですねだからここで書いてると小冊子が最も厳しいとしか書いてないので、そういう指摘を受ける可能性もあるし、
0:13:36	だからロジックとしてもう少し丁寧に、総合的に、例えばグラウンドアンカーについては、1 断面も 5 断面もプラスプラスですよとかね。
0:13:47	どこに着目して、だから、厳密に所達だけ見ると、そういうことがあるので、そこら辺も先ほどユリさんが前段で説明したものも含めて、
0:14:00	総合的に評価して、影響検討のケースを決めてるんですということが明確になるような、ロジックを立てていただかないと、あとはどこを、いろんな指摘を受けるのではないかなということで、
0:14:14	そこら辺のロジックをきちんともう 1 回整理していただければなというふうに考えていますがいかがですかどうぞ。
0:14:23	はい。中国電力李です。ありがとうございます。今おっしゃられたことも踏まえまして、ちょっと書き足りてない部分がありますので、もう少しもう少し記載を充実化して、
0:14:35	断面選定と、地震動の選定が適切である旨をちょっと記載したいと思えます。以上です。はい。規制庁のハツトリですはいわかりました
0:14:45	影響検討は本検討と違ってケースを絞り込んでいいと思えますので、ただ絞り込むにあたってはロジックはしっかりしていただきたいと思えますので
0:14:55	もう一度整理していただければと思えます私からは以上です。
0:15:03	中国電力ユリです。承知いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:15	はい。規制庁の服部です。
0:15:17	すいませんもう1点ありましたのでちょっと確認をさせていただきます。
0:15:22	今回、前年護岸がない場合の影響検討をやっていただいて、205ページに置いて、
0:15:34	有意な差がなくて書いてありますよね。
0:15:37	実際にある場合のケース等ない場合のケースの、同じ地震動断面、
0:15:45	も見た場合、
0:15:47	ここに書いてあるように、良いな差がないんですよね。
0:15:51	一般的に前面の護岸がなくなれば、押さえる力が減るので、
0:15:58	有意な差が出て厳しくなるんじゃないかというのは、定性的には考えられるんですけども、
0:16:05	ここで有意な差が出なかった理由、これについて何か考察されてますかどうか。
0:16:19	はい中国電力ユリです。先ほど私がちょっとご説明したところともちょっと回答がかぶってしまうんですけども、
0:16:27	この結果からちょっと考察するとですね、やはり前面につきましては、都市施設護岸の方がですね、自動ドア数側にも寄与するんですけども、
0:16:41	陸側に倒れる時の主導的な動圧にも寄与しているのかなと。
0:16:47	いうふうに考えております。
0:16:48	で、
0:16:50	まず、そういったところがメインの理由で、午後、5段目の前面がない場合、とある場合比較した時にですね、
0:17:00	あまり有意な差が見られなかったんじゃないかなと考えております。以上です。
0:17:04	規制庁の服部です。今の話だと、結局ある場合とない場合で、荷重のかかり方や抵抗、
0:17:13	を考えると、
0:17:16	相殺されるから湯浅が出なかったということの、
0:17:21	説明だというふうに受け取ったんですが、それにしてもですね、余りにも値がですね近過ぎるといふか、それで
0:17:33	要するに荷重の作用方向と抵抗自動抵抗が相殺されるということであればもう少し差が出て行き、
0:17:41	いいのか、バラバラになってもいいのかと思うんですけども、それに比べてこの結果だけ見ると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:48	ほとんど一致してると言ってもおかしくないぐらい値が近かったりするんで、それだけじゃないのかなあと、いうふうにはちょっと私どもとしては考えています。
0:18:01	なので、例えばもう少し考察を加えていただきたいな、考察を加えるにはある程度
0:18:09	火家アノ結果の検証をしなきゃいけないと思うんですよね。例えば同時刻変形図を出してみるとか、いろいろなものをですね結果を見てですね、
0:18:21	どういうふうな状態になっててどういうふうなあれになってるから影響がないとか、変わってないんだとか、先ほどの折井さんのおっしゃってることも、
0:18:31	一つはあると思いますけどあくまでも定性的な評価なので、結果を検証しつつ、そこら辺を考察していただきたいなと思っていますがいかがですか。どうぞ。
0:18:45	はい中国電力李です。
0:18:47	はい。ご趣旨理解いたしました結果を踏まえてですね、いろいろな考察の仕方があると思いますので、
0:18:56	ちょっと結果形を分析をしてみてもですね、考察をもう少し加えたいと思います。以上です。
0:19:04	規制庁の服部ですはいわかりました私のイメージは例えば同時刻変形図なんか非常に考察をするのにわかりやすいかなと思いますので、そういうのを1回見ていただい見て、
0:19:15	見てみたらいかがですかということもありますので、それらも踏まえてですねそちらの方で検討していただいて、また報告いただければと思います私から以上です。
0:19:29	規制庁の江崎ですが、今の羽鳥審査官の話。
0:19:34	にちょっと補足、付随してっていうかですね追加してたんですが、
0:19:39	この同時変形図っていうのは、今まで他サイトでも何回か見ていた、見ていってますこういう既設護岸とかしてしまうんだとか護岸等ですね、
0:19:51	結構大変形してるんですよね。そういうこともあって例えば、
0:19:56	が、こういう差が生まれない原因であればそれはそれで理解できますので、別にその壊れちゃいけないっていう、後ろの方ではないので、それは構わないと思うんですけど。
0:20:07	なぜ差が生まれないのかといったことだけは一応考察していただきたいので、
0:20:14	この断面⑤の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:18	5番を期待しない、施設護岸を期待しないケースではないから、説明は変位変形図というものと、説明する施設護岸の変形図、
0:20:31	側から変位変形がわからないですけど、
0:20:34	いわゆる施設護岸と静止バンドをモデル、モデル化したものに関して
0:20:40	変位が同程度示しているのかってわかるようなそういう図面等の変形図とかですね、数値を示していただいて、
0:20:48	それを踏まえて、
0:20:51	5番と、ここは及び停止の地震時の村莊状況と言い過ぎでしょうけども、地震時の変形状況を考察し、
0:21:03	そう
0:21:04	そもそもこの影響検討の位置付けにも関係してくると思うんですよねあまりそういった、
0:21:11	大きく変形していくものに関しては、そもそもが
0:21:16	ステージ、
0:21:17	とかのですね、ばらつき不確かさっていうのは、
0:21:21	確認しようがないっていうのはそちらのご返答でしたんで、これはあくまでも、
0:21:26	影響検討というよりは、不確かさの扱いとして扱っていただきたいなと思っています。結局はそこに結びついていくと思うんですが、
0:21:34	やはり早期護岸とSTACYっていうのが
0:21:39	モデル化していたとしてもすごく変形しているんであれば、ある程度大きな損傷を起きているんであれば、その状態っていうのは数値シミュレーション
0:21:50	不確かさって言えないんですよね。だいたい壊れるものっていう、壊れた状況っていうのは、
0:21:55	そっから鑑みれば、もう完全北井もモデル化にもいろいろフジムラです。申し訳ございませんが先ほど少し音声途切れてしまいましたので、
0:22:06	要点の方もう一度お願いできませんでしょうか。まずね服部審査官が言っているような変形図というのを示していただいて、着目点は、
0:22:17	停止バンドと、この5番ですね既設5が、
0:22:22	これがどのような変位量を示しているのかってのを示す必要があると思っています。
0:22:28	デブ整理を踏まえて、
0:22:31	STACYブランドの神事の、その状況ですね、状態を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:37	みずから加藤層把握を考察した上で、
0:22:42	この影響検討としての位置付けを、
0:22:45	ちゃんと温室再度検討していただきたいというのは、お話の要望です。わかりますか。それはなぜかという、
0:22:56	以前にも発言させていただきましたが、ステージのばらつきは不確かさ
0:23:02	不アノン。
0:23:05	詳細に検討することはできないということでヨシツグさんは、一つ二つの観点でこういったことを検討するといったことになってますんで、発言されてますので、
0:23:19	基本的に言うと、これは影響検討で済む話じゃなくて、一応、タイトルとしては不確かさの検討としていただきたい。
0:23:27	というのが一つで、不確かさであって、基本的に、やはり安全余裕の小さい、こういうことはあり得るっていう、ありえないけどここでやった、オーバースペックめにやったということではなくてこういったことも起こり得るという観点からするとその二つ下に入ってくるわけですね。
0:23:46	ということはその設計の範疇に入ってくるので、最終的には工認図書に記載してください。ここまでが私の指摘です。よろしいでしょうか。
0:23:59	聞こえてないならこうしてください。東京支社。
0:24:03	すいません中国電力ユリです。よく聞こえました能勢に大変申し訳ございませんでした。趣旨理解いたしましたので、スターステージのばらつき等を踏まえまして不確かさの検討という位置付けに直しまして、
0:24:16	変形図とかも含めて影響の確認というか分析もした上で、資料を記載したいと思います。音声他の途切れまして大変申し訳ございませんでした。ですから、わかったら何がいいですか。
0:24:31	もう1個あって、できればこれは説明性の向上の観点だけなんですけども、
0:24:39	断念①とかですね、その他でも検討を、この施設護岸がありますよね。そこに関しての、そういうやっぱり変形図とか、
0:24:49	変位、特に施設護岸に対してどういう位置付けになるのかといったことで、
0:24:54	多分この⑤断面だけをこう、その不確かさの選定ケースでやっていることは、私もそれで正解だろうと思ってはいるんですけど、基本的にもし①断面でもやはり、かなり変形してるようであれば、
0:25:09	うん。
0:25:10	①断面だだ断面①で、そういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:15	既設護岸をあるなしなんて検討する必要はあくまでもなくなってくるって いう液状化の
0:25:22	状態だけではなくて、施設護岸の状況から見ても、0 断面①ではその不 確かさケースを検討しなくても済むようなロジックを組めるかなと思って いまして、
0:25:34	その辺がまだ判断できないので、そちらの方もちょっと確認した上でで すねまた説明いただけますでしょうか。
0:25:44	はい中国電力入れず、本件をまとめるに当たりまして 1 断面の変形図 もお示した上で、検討したいと思います。以上です。
0:26:12	規制庁のハツトリです。すいません今ちょっと庁内で話をしていましたの で少し途切れましたが、
0:26:20	ちょっと私からも 2 点ほどちょっと確認だけさせていただきます。
0:26:24	まず 188 ページをお願いします。
0:26:28	少しずっと気になってはいたんですけど、
0:26:32	この使用力図、左側の省力図、これの、
0:26:37	改良体の右下、
0:26:39	一番下から 2 番目、この応力状態なんですけれども、
0:26:44	少し違和感を感じるんで感じますというのは、
0:26:50	応力の流れはが大体わかるんですけれども、
0:26:55	ここの要素だけ結構立っていて、
0:26:59	流れが逆に
0:27:02	向いていて引っ張り強度も引っ張り応力もかなり大きく出てるというこ とで、
0:27:08	通常であれば、189 ページみたいな形になるんじゃないかなと思いつ つ、
0:27:15	この要素だけ 1 個だけ少し違和感があるんですけれども。
0:27:19	こういう応力が出ている理由って何かわかりますかどうぞ。
0:27:28	中国電力の藤村です。あとこちらの内容につきましてはそこをできかね ますのでまたご確認させていただいて、また次回ご説明させていただき たいというふうに考えております。以上です。規制庁の服部ですはいち よっと私が懸念してるのは、
0:27:43	何かこうDたとかモデル化で何かちょっと、のミスをしていて応力がうまく 引き継がれなかったりとかになってなければそれはそれでよくて、動的 解析なので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:55	厳密な理由って多分、なかなか見つからないので、ちょっとそこだけもう1回確認をしていただいた上で何か理由があればまたその理由は説明できるなら説明していただければと思いますがいかがですかどうぞ。
0:28:11	中国電力の藤村です。承知いたしました。次回またご説明をさせていただきたいと思います。以上です。規制庁の服部です。はいわかりました基本的には入力誤りがないことを確認していただくということで、
0:28:21	認識して、していますのでよろしくお願いします。
0:28:26	では次、
0:28:28	最後になりますが、ちょっとこれも単なる事実だけの確認です。
0:28:32	289 ページお願いします。
0:28:41	この 289 ページにある、
0:28:44	P-Y0。
0:28:46	というのが、
0:28:48	これが島根の基準地震動Ssに相当する荷重なんだというふうに理解してよろしいんですかどうぞ。
0:29:13	確認しますので少々お待ちください。
0:29:44	はい中国電力倍率お待たせして申し訳ございませんby0 に関してですが、
0:29:52	289 ページの 1 ポツ目にですね算出方法を記載させていただいております。材料の実強度を用い鉄筋が絞られた部分でのRC断面計算により算出された鉄筋が降伏する時の荷重、
0:30:06	になりますので、こちらは地震を想定した荷重とは異なっております。以上となります。
0:30:13	規制庁の服部ですはい。わかりました。
0:30:20	要するに何だろうどっかにダンメンありましたよね、どっかに断面があった。
0:30:27	引っ張りのところにいっぱいのところ断面があったと思うんですけど、引っ張りの説明のときに、Mnインターラクションカーブの説明のところに、
0:30:38	確か断面があったと思うんだけど 318 ページですね。
0:30:43	この 318 ページの断面で鉄筋の応力度所社をやってその鉄筋が降伏する時の荷重だっというふうに理解すればいいんですかどうぞ。
0:30:58	東北電力のタイですはいその認識で間違いありません。以上です。
0:31:05	規制庁のハツトリですはいわかりました。ちょっとすいません私も、
0:31:10	読み込みが少し甘かったのかな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:12	PI02 が基準地震動Ssぐらいの力で、そのPI0 までやっても、ひび割れはほとんど入らなくて、さらにどんどん上げていったら、当然ながら、ひび割れが入って、ヒンジの状態に移行する。
0:31:28	だというふうには思っていたんですがそういう見方じゃないということだけわかりましたので私からの確認は以上となります。
0:31:42	はい、規制庁チギラれず、他に確認する点がある方、お願いいたします。はい。規制庁野村ですけど今の 289 ページの、これ絞られた部分の、RC断面計算って言うてるから、
0:31:55	これはですね中央部に鉄筋が集中して、そこに引張力が入り、コンクリートにコンプレッション入った時の耐力っていう理解でいいですか。
0:32:10	はい。中国電力のタイでその認識で間違いありません。はい、わかりました。ありがとうございます。それとあと、
0:32:17	先ほどからちょっと出てた、護岸、既設護岸を無視するっていうやつですよね。で、
0:32:26	そして結果があんまりこう、ほとんど小冊子変わりませんよっていうのが、私もちょっとどうしてなのかなと思ったんですが、
0:32:35	エザキの方からもハツリの方からもちょっといろいろデータを出してくれという話がありましたけど、
0:32:40	例えば 205 ページ、補足資料の 205 ページ見ると、
0:32:46	これ営業検討係数で見ると、あとtがた領域のMが減ってるんですよ。
0:32:52	熱力が多くない、大きくなってんですよ。
0:32:56	結果的にはだから軸力をM減る、軸力増えMが減ってるので、小冊子がぐっと落ちたりしてるんですが、
0:33:03	この曲げと軸力の変化みたいなのをちょっと、
0:33:09	影響検討ケースとしてあと評価済みのやつとどこがどう違うかっていうところを見ると、意外と他のせん断とかがそれに付随して出てくるので、それに着目して、少し考察を加えていただければいいんじゃないかなと思います。
0:33:24	これは私のちょっとサジェッションです。いかがですか。
0:33:33	はい。中国電力衣斐です。ご提案ありがとうございます。今おっしゃった件も含めて、曲げモーメント軸力にも着目した上で、
0:33:43	考察を加えたいと思います。ちょっとここで一つ目、お断りというか申し訳ございませんなんですけれども、こちらに記載してる

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:53	曲げモーメント軸力と照査値なんですけども、先ほどのあった話と同様にですね、
0:34:01	断面力を部材単位でそろえる前の軸力、曲げモーメント照査値になってございますので、ほとんど値としては照査値につきましても4位と軸力につきましても変わらないんですけども、
0:34:12	なんで傾向は同じようになると思うんですけども、
0:34:15	こちらもちよっと次回修正させていただければと思ってます。以上です。
0:34:30	規制庁、飛田です。他に確認する点があれば、お願いいたします。
0:34:45	規制庁の谷口です。
0:34:51	109 ページ、グラウンドアンカーの非線形ばねのモデルの概念図。
0:34:58	これ一のですね、衛藤。
0:35:01	概念と、
0:35:03	材料物性値って書いてありますけど、これ、材料物性値じゃなくって初期入力値とかそういうイメージではないんですか。
0:35:13	材料物性って書いてあるんですけど。
0:35:24	はい。中国電力ユリです。こちらに記載しております。
0:35:30	積アンカー力につきましてはおっしゃるように初期導入力というか初期緊張力になります。それ以外にもモデルに入力します物性として引張剛性だったりを記載しておりますので、
0:35:43	ちょっと材料の物性値の記載もあるんですけど、解析用物性値というか解析に用いる物性値もありますので、ちょっとタイトルの方は適正化させていただければと思います。申し訳ございません。よろしく願います。
0:35:57	それから、
0:36:00	これは、
0:36:02	266 ページ。
0:36:04	のところに、
0:36:06	扇形バネモデルの概念図が書いてあって、
0:36:09	こちらは丁寧に、
0:36:11	初期変位量とか、それから設計段階力はこれですっていうような表示があるので、
0:36:18	109 ページ目のところもきっちりこういう表現をしておいていただけないでしょうか。特に初期医療というのはこの266 で示すように、
0:36:29	勾配が立ち上がるころの前に入れてる初期変位量ということでいいんですよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:39	はい中部全部切りです。食品医療につきましてはおっしゃる通りでございます。266 ページの記載のように、前の資料記載、適正化したいと思います。以上です。はい。ちょっとわかりやすくしておいてください。
0:36:53	それから、これはあくまDAY1 断面と 5 号断面で入れてる。
0:37:00	ブランド案のイメージですよね。
0:37:04	てこと 7 断面については、来年は、
0:37:09	記載はどこに入っていないということでしょうか。
0:37:16	はい中国電力よりです。概念的には同じなんですけどもおっしゃるように陸側 1 本が 2 本しかかけてなくてですね、7 段目につきましては 3 本入ってるところもありまして、3 本入ってるものを 1 本にまとめているものもございます、
0:37:31	こちらでそれがわかるように記載を適正化したいと思います。以上です。はい。そうですね、この概念の中に入れといていただければわかるかと思えます。よろしくお願ひします。以上です。
0:37:46	規制庁の三浦です。ちょっと私の方から何点か確認させてください。補足資料の 178 ページ。
0:37:54	ここの表の 4-3-5 の(1)、(2)なんですけど、
0:38:00	この調査深度、
0:38:02	非常に小さい値が入ってるんですが、延長行動の方向の応答結果を見ると、結構鉛直方向 700galぐらい入ってたりするんですけど、この照査用震度ってどういう算出されてるんですか。
0:38:33	Cにしますので少々お待ちください。
0:39:11	中国電力ユリです。ちょっと今記載してるところ探し中なんですけども、確か記憶では現場の水平の最大加速度を当時の
0:39:23	鉛直方向の地震動というのを、
0:39:28	皆さんというか平均化したもので、詳細を進藤、設定しておるのでこういった小さい値になってたと考えておりますちょっと記載の方確認して、後程みつけしてご説明させていただきます。以上です。すみません
0:39:44	現場の応答加速度延長高校へへ、鉛直方向と加速度を平均化するってどういう意味ですか。
0:39:57	はい、中国電力入江です。再利用等でモデル化しておりますので、各梁のかかっている加速度を平均化していたと記憶しております。ちょっと記載を探しますのでちょっとお待ちください。
0:40:29	難しい。
0:40:34	現場を平均化してるのに、底盤の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:37	その人それはそれで一つの考え方、
0:40:42	随分小さいんですけどがでかい時は延長がちっちゃいので、操作があるそうそう。
0:40:49	そういうことが同時入力だからね。
0:40:58	はい。中国電力ユリです。今設定方法の記載をちょっと確認したんですけども、具体的に 120 ページ 121 ページに調査方法を記載しているんですけども、
0:41:10	ちょっと私が先ほど申し上げたような記載が欠けておりませんのでこれちょっと事実関係を確認させていただきまして、ちょっとわかるように記載を適正化したいと思います。
0:41:21	申し訳ございませんでした。以上です。自転車のみならず記載はずっと充実してください。
0:41:28	これあれなんですね、水平鉛直同時入力だから、水平最大Gの鉛直腔で見てるから。
0:41:35	非常に小さい値になってるっていうふうにしたんだけど、それ正しいですか。
0:41:43	はい中国電力ユリです。おっしゃる通りだと思います。ちょっと確認させていただいて記載を充実化したいと思います。そうですね具体的にどうしてこういう数字がなっかっていうのもちょっとデジタル値として表してもらおうと、いいと思います。
0:42:01	設計理事の中国電力李です。承知いたしました。はい。お願いします後ね 181 ページなんですけど、
0:42:12	これもあれなんだなあ。
0:42:16	表の 4-3-9 の(1)ってこれ、慣性力下側に入れてるからこれ応答結果が水平最大の時の応答結果が下側に関する向いてるからって、
0:42:26	いうんで体力に加算してるっていう理解でいいですか。
0:42:34	はい中国電力李です。おっしゃる通りでございます。以上です。わかりました理解できましたどうもありがとうございます。あと、211 ページ。
0:42:47	ここの上の文章、一番上の文章なんですけど、
0:42:53	鋼管杭と埋戻しの間には地震時に、鋼管杭の間を埋め戻しがすり抜ける効果を考慮するために、杭地盤倉庫作用ばねでモデル化するって言葉があるんですけど。
0:43:07	これは具体的に、
0:43:09	どういうモデル化をしてるかちょっとよくわからないんですけど説明してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:18	中国電力の藤村です。すそ先ほどまた音声が入切れてしまったようなんですが、ちょっと再度、ごめんなさい。去年は聞こえています。
0:43:29	今聞こえておりますが、211 ページです。
0:43:34	その一番上に、
0:43:36	地震時と交換の間を埋め戻しをすり抜けるその効果を考慮するために杭地盤相互作用ばねをモデル化するって書いてあるじゃないですか。
0:43:46	これ、具体的にどういうふうモデル化されてるかってのはわからないんで説明していただけますか。
0:44:35	すみません、聞こえますでしょうか中国電力李です。排風てますどうぞ。
0:44:42	すいません。1、こちらですね、鋼管杭と改良地盤を接点共有せずですね、
0:44:50	その代わりに鋼管杭の方、梁要素になってるんですけどもこちらの接点と、改良地盤等をばねで結びつけるような統合作用ばねというものをつけておまして、
0:45:05	交換の変形に応じて、若干剛性を持ちながらも、改良地盤をすり抜けて変形するようなモデルにしております。こちらのばねの剛性の設定値だったりちょっと欠けてないんですね、
0:45:18	こちらもう少しちょっと記載を充実させたいと思います。以上です。はい規制庁の三浦です。まずは鋼管杭と米田突戸の間じゃなくて鋼管杭と地盤改良、改良度の間ってことなんですね。
0:45:34	はい、中国電力李です。おっしゃる通りでございます。この鋼管杭のはり要素がちょうどあるところの改良地盤をアノ等を接点協議せずにバネで結んでいるといったところでございます。以上です。わかりましたこれ、マーク誤字は僕は訂正していただくとともに。
0:45:52	文章として説明を加えていただくのと同時に、ちょっとばねの部分の概要というか、ポンチ絵面と、ポンチ絵みたいな考え方みたいなものを上でちょっと示しておいていただけますか。
0:46:07	はい中国電力李です。承知いたしました。久井地盤総合作用ばねという名称がちょっと誤解を招きますので、杭改良地盤といったところをちょっと記載を適正化するとともにですね、ちょっとそういった説明書きと、
0:46:21	今おっしゃったようなポンチ絵みたいなものをですねちょっと記載を追加したいと思います。以上です。はい、ありがとうございます。
0:46:28	あと、ちょっとこれはもう、
0:46:32	検討結果が何だこうだという話ではないんですが少し気になったのが292 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:41	これ
0:46:45	プッシュオーバーしてってD品次に移行した時の要因として、
0:46:51	最下方向のフーチングにひび割れが入ったからだから、体力低下を起 こしたって話になっていて、
0:47:00	今度 304 ページでは、これを解析的におったときに、プッシュオーバー して、
0:47:08	これは要するに、フーチング性の日々の風疹に生じたひび割れがうまく シミュレーションできてないから、こうやって単調的に上がってったとい う。
0:47:21	結論なってますけど、
0:47:23	もしも、大量低下の要因が雑賀側のフーチングのひび割れならば、これ は、
0:47:30	杭そのものが持つヒンジ性能とか、構成のところは全く関係ない話にな っちゃう。
0:47:36	と思うんですよね。だからちょっと論理的に少し矛盾してるのかなという ふうに思ってたんですけど、その辺どういうふうに見解思われてま す。
0:47:59	聞こえますか、少々お待ちください。
0:48:02	あ、聞こえております。確認中ですので少々お待ちいただけますでしょ うか。
0:48:21	はい中部電力李です。お待たせいたしました申し訳ございません。こち らちょっと記載が足りてないかもしれないんですけども、日比バレエと同 時にですね、
0:48:31	基金もちょっと中心に集中するような上手い方を知って廃棄してるん ですけども、こちらの鉄筋の降伏も踏まえて審議会に移行しているよう な形になっておりますので、
0:48:44	ちょっとそういったところが、わかりにくいというか書ききれてない状態 になってますので、記載をちょっと検討したいと思います。以上です。はい もうおそらくそうじゃないと進まないんですけど。
0:48:56	でも 304 ページは、これ、解析結果は鉄筋がこう何とか絞られてるって いう状態が模擬できているので、それには全然その効果が現れてない ですよ。それなぜですかね。
0:49:11	はい 304 ページの方がプッシュオーバーのところで、解析結果と実験結 果併合してない理由についてはですね、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:22	鉄筋の方はきちんとその呉服までモデル化できてるので、そちら水追従してはるんですけども、ひび割れのところですね、こちらが、
0:49:33	もちろん材料非線形でモデル化してはるんですけどこの飛灰ひび割れで開いてしまって不連続になってしまう部分を、
0:49:40	モデル化ができてなくてですねそういった関係で追従してないんだと考察しております。以上です。
0:49:46	規制庁の井田ですそれはちょっとそこに 304 ページに書かれてはるんですが、
0:49:52	そうするとやっぱりひび割れの要因が、
0:49:56	ヒンジ神野浦要因になってしまっていて、
0:50:00	どうもそこんとこすっきりしない人が、結論なってますよねもうちょっとこれ、
0:50:05	丁寧な少し書かれたらいいんじゃないですかね。今言われたようにまず実験の方で陥ってるのは、最下方向の日照とともに鉄筋の距離が狭まって、集中してること一部降伏が見られるので、こういうふうな低下傾向が見られる。
0:50:20	当解析の方は、鉄筋を模擬されてはるけども、
0:50:25	コンクリートやっぱりコンクリートのひび割れの部分の方が、体力低下の要因として大きいんでしょうね。
0:50:32	だからそういうふうに、勾配は寝てきているけども、体力ず
0:50:37	増加傾向があるっていうようなことかな。少しこれ、今これだけ読んでるとね、やはりちょっと何なのかな、この結果はっていうふうにちょっと思ってしまうので、
0:50:50	もう少し考察を加えていただいた方がいいかなと思います。最終的には 5 であるっていうんで検討してはるでもう、多分この変形領域だったら絶対 5 なので、その検討結果が云々ってことではないんですが、
0:51:02	ちょっと実験結果っていうのは少し考察を加えてください。いかがですか。
0:51:09	はい。中国電力李です。ご指摘ありがとうございます。ちょっと考察足りてなかったところがあるんですけども、今おっしゃっていただきましたことを踏まえてですね、
0:51:22	考察をちょっともう少し充実させたいと思います。以上です。
0:51:26	はいありがとうございます私から以上です。
0:51:31	はい、規制庁てください。
0:51:33	他に。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:35	よろしいですか。すいませんじゃ最後私 1 点だけ、ちょっと今日のこの後、逆Tとはちょっと直接関係ないんですけど、
0:51:45	④の資料の 112 ページ、
0:51:49	今日説明もなかったんですけど、
0:51:52	ここのですね 112 ページの一番下の注記の 2 番ですね、海底堆積物、
0:51:59	メモの資料の物量流用して液状化影響を考慮するというので今回新規で書かれているんですけど、
0:52:06	これは先日、取水管のヒアリングを受けて、この海底堆積物の扱いを変更したということなのかっていうのが 1 点と、この海底堆積物が出てくる止水管とか取水口、
0:52:23	これについては解析鑄鋼を変えるのかな何らかの工夫をするのか。
0:52:28	どうなのかっていう 2 点、二つ目なんですけど、この 2 点についてちょっと説明いただけますか。
0:52:38	それ。
0:52:39	はい中国電力ユリです。まず、こちら、1 点目なんですけども、こちら、注記 2 ということで記載しておりますけども、今までこのように、海底堆積物につきましては、梅野の物性を流用したもので液状化も考慮したモデルで解析をし、
0:52:58	良く流域につきましてはしておりましたので、
0:53:00	ちょっとそこは記載できてなかったの追記した次第でございます。解析結果を変更したものではありません。
0:53:08	もう一つ 2 点目のところの取水管との整理の関係なんですけども、こちらにつきましては、地図データ等も踏まえまして、ちょっと整合といいますか、整理を検討中でございます。
0:53:23	整理でき次第、隣管の方のというコメント回答の方でご説明させていただければと思っております。以上です。
0:53:39	きちっとチギラです。
0:53:41	ちょっとよくわかん海底堆積物、
0:53:45	埋戻度って、今までも整理してたってことっていうのと、特には何か砂礫で考えますって話があったと思うんですけど。
0:53:57	そこはどうなんですかね。
0:54:08	少々お待ちください。
0:54:24	はい。それだけですけどそうじゃないですか。今日は、
0:54:27	先日通話確認したように私は確認してんですけど、今回、この設工認説明もすでにいただいた。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:37	地盤の恣意性の、の基本方針書の中の一部、その液状化影響方針の中では、
0:54:45	海底堆積物は、
0:54:48	そうだよ。
0:54:49	液状化する対象物となっている砂礫。
0:54:54	そして
0:54:56	2度を代表性、代表させますと。
0:54:59	代表するとかそれに含めますという書き方になっているんですよ。
0:55:04	で、
0:55:06	今日、またこの位をボイスド腕モデル化しますっていう話になったんでちょっとびっくりしてるんですけども。
0:55:16	基本方針に則って計算していただかないと困るんですよ。何のための基本方針かわからないんでアノシダここですね、すみません。
0:55:32	取水口の方で踏まえてですね書いてあった場合は、整理しておりますので地盤物性の方、
0:55:42	五名ですね、近日中でお示したいと思います。越後期ウマコシどうぞ。
0:55:53	はい。ここのですね次、逆転における書いていただく物につきましては、当初からミヤモト静ということで液状化をさせるということにしておりましたけども、浅利期とするというところでちょっと、
0:56:06	関係でちょっと、ちょっとわかっておりませんので、申し訳ございません。ちょっと本社が何かその辺知ってるものったらお願いしたいんですけどどうですか。
0:56:26	中国電力本社シミズです。今清水部長の言っていた通り、少し事実確認中ということでこちらから追加することはこの品質保証のね、
0:56:39	品質保証側にもわかる。
0:56:42	規制庁植竹です。聞こえてます、江崎です。聞こえてますでしょうか。
0:56:47	基本的に工認と沿って添付しろに書いてある計算書な中に入っている、その条件ですねそれは、
0:56:56	すべて基本方針に基づくもの、ものとしてひもづいているんです。だから、
0:57:01	そう構造物ごとに、それを分けるのであれば、もう一度、地盤の
0:57:07	新制度の基本方針をその物性値ごとにまた改めて説明していただく必要があるんですよ。わかります。お作法として、まず、
0:57:18	勝手に地盤物性値は作らないでください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:24	基本的にですね 10 全部地盤の基本方針、地盤の支持制度の基本方針に紐ついてますから、
0:57:32	当初はね、
0:57:34	補足説明書進むと書いてるかもしれないけども、
0:57:39	我々、そちらが出されてる図書っていうのはすべて、そこで紐づいているので、
0:57:45	地盤の基本方針地盤の地盤の支持性能の基本方針に書いてない物性値は、
0:57:53	工認図書の中で、参考書添付資料か、添付資料の中で、使われてないことになるんですよね。
0:58:02	その辺ですね、よく国に出す提出物としてどうあるべきか、どうしないといけないのかっていうことをちょっと踏まえてですね。
0:58:13	ちゃんとか整理していただけますか。
0:58:15	よろしいですかそうすると、大変
0:58:18	品質保証的に、
0:58:22	不適合という形になってしまいかねないのでそこは気をつけてくださいよ。
0:58:27	はい。中国電力清水です。すいません書いていただいて、今回ここに特記させていただいたので先般の改定対策取水口の時のですね、
0:58:40	海底堆積物の話がありましたので、今回ここでやっている解析については、海底堆積物に戻しの物性を流用して、こういう評価を、法律家考慮するということで、
0:58:54	計算の中身としてはそういうことをやっておりましたので記載させていただいております。で、先ほど委員の方も申しました通り海底堆積物基本的に湾内の海底堆積物についてはですね今ちょっと全体をせず、
0:59:08	ちょ、地質の調査結果等踏まえてですね、整理しておりますので、その結果をもってですね早い段階でご説明して必要な修正があればですね自分の姿勢の資料にもですね反映させていただいて必要あればこちらの方にも反映が出てくるかもしれませんけど
0:59:25	統一したもので、今おっしゃられるように、工認図書ということで整合したものでご説明させていただきたいと思っております。以上です。
0:59:37	切り取って入れず、今清水部長言われたような形で対応お願いいたします。
0:59:43	ちょっと私気になったのは取水口と取水管ですね。そこには構造物の近くに出てきて取水口とか建設とかすると思うので、その辺も、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:55	ちょっとどうするのかなと思ったのでそれはまた個別の計算書の中で、とかですね補足説明の中で確認したいと思いますので、ちょっと説明の準備をお願いしたいと思います。
1:00:09	他、いかがでしょうか。
1:00:15	中国電力清水です。個別の計算書の前にですね申請の資料ということですね、
1:00:22	早めにご説明させていただければと思います。以上です。はい、わかりました。
1:00:29	他、
1:00:30	特にはないですかね。はい。
1:00:33	中国電力側から追加で説明する内容ありますか。
1:00:41	中国電力の藤村です。こちらからは特にございません。以上です。はい、わかりました。それでは本日、また幾つかコメント出ましたので、それに対してご回答いただければというふうに思いますのでよろしく願いします。
1:00:55	それでは本日のヒアリングの方を終了いたします。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。